

完成版
令和元. 7. 19

新潟市教育ビジョン第3期実施計画
～NEXT&NEW～

平成30年度 施策最終評価

令和元年6月5日

新潟市教育ビジョン推進委員会

新潟市教育ビジョン平成30年度施策実施状況最終報告 施策一覧

基本施策(13施策)	施策(54施策) 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁					
				総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ			
1 確かな学力の向上	1-1	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	【NEXT】	4.3									◎				○	☆	1	
	1-2	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進		4.0									◎						3	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進	【NEXT】	4.3					○				◎						☆	5
	1-4	アグリ・スタディ・プログラムの推進	【NEXT】	4.0									◎						☆	7
	1-5	学習習慣の定着		4.0									◎							9
	1-6	読書活動の推進と新聞活用の充実	【NEXT】	3.3						○			○	◎					☆	11
2 豊かな心と健やかな 身体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進		4.3									◎				○		13	
	2-2	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	【NEXT】										◎						☆	15
	2-3	体験活動・ボランティア活動の充実		3.5									○			◎				17
	2-4	文化・芸術活動体験の推進		4.5									◎			○				19
	2-5	体力づくりの推進		4.5									◎							21
	2-6	健康づくりの推進		3.3									◎							23
	2-7	食育の推進		3.2													○			25
	2-8	青少年の健全育成の推進		4.3														○		27
3 創造性に富み、世界 と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実		5.0													◎			29
	3-2	外国語教育・国際理解教育の充実	【NEW】	3.5										◎					☆	31
	3-3	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	【NEW】	4.3	4.4									◎					☆	33
	3-4	主体的な取組を促す環境教育の推進		4.3						○				◎			○			35
	3-5	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	【NEW】	5.0										◎					☆	37
4 共生社会の実現を 目指すインクルーシブ 教育システムの推進	4-1	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	【NEW】	4.0										◎					☆	39
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進		5.0	4.7									◎						41
	4-3	早期からの就学相談・支援の充実	【NEW】	5.0										◎					☆	43
5 校種間・学校間連携 を活かした特色ある 学校・園づくり	5-1	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	【NEW】	4.3	4.3	◎													☆	45
	5-2	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	【NEW】	4.3		※								◎					☆	47
6 人権を守り共に支え 合う社会の推進	6-1	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進		4.2	3.6									◎		○	○			49
	6-2	交流・体験活動の推進		3.0													◎			51
7 家庭教育の充実と子 育て支援	7-1	家庭教育充実への支援		4.0	4.5												◎			53
	7-2	子育て支援の充実		5.0													◎			55
8 生涯を通じて学び育 つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり		2.0	3.6												◎			57
	8-2	学び育つ各世代への支援	【NEXT】	3.7											○	◎	○		☆	59
	8-3	地域における生涯学習活動への支援		5.0													◎			61
9 地域と学校・社会教育 施設が協働する教育 の推進	9-1	地域と共に歩む学校づくりの推進	【NEXT】	4.3	4.2												○		☆	63
	9-2	広報広聴活動の推進		4.0		◎														65
	9-3	学校・地域・NPO等の協働の推進		4.3										◎			○			67
	9-4	高等教育機関及び企業との連携推進	【NEW】	4.3										◎	○	◎			☆	69
	9-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画		4.0										◎			※			71
	9-6	市民の生涯学習施設運営への参画		4.5													◎	○		73

基本施策(13施策)	施策(54施策)		3期進捗 平均評価	担当課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料頁			
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策			総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ	
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1	防災・安全教育の充実 [NEW]	4.0							◎							☆	75
	10-2	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0							◎								77
	10-3	安全な学校施設	4.0			◎												79
	10-4	学びを支援する体制の整備と充実 [NEW]	4.0		◎			○		○							☆	81
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1	効果的な指導を支援する施設設備の充実 [NEW]	4.0		◎												☆	83
	11-2	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0			◎												85
	11-3	学校施設の整備	4.0			◎												87
	11-4	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	3.0								◎	○						89
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 [NEXT]	4.0					※				○	※	◎			☆	91
	12-2	教職員への支援体制の充実	2.3						◎									93
	12-3	信頼される教職員の採用・登用・配置	3.3						◎									95
	12-4	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0						◎									97
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1	新潟らしい教育改革の推進 [NEW]	4.0		◎												☆	99
	13-2	効果的・効率的な執行体制の整備			◎													101
	13-3	教育情報の収集と発信	4.0		◎													103
	13-4	学校適正配置			◎													105
	13-5	教育施策の管理と適切な評価	3.0		◎													107

施策評価の平均	全施策の平均
	NEXT&NEWの平均

施策評価の分布	評価5 … 指標を上回って達成した施策	11.8%	} 76.5%	← 平均評価5.0の施策数÷51施策×100
	評価4 … 指標を概ね達成した施策	64.7%		← 平均評価4.0以上評価5.0未満の施策数÷51施策×100
	評価3 … 指標をもう少しで達成した施策	17.6%		← 平均評価3.0以上評価4.0未満の施策数÷51施策×100
	評価2 … 指標を下回った施策	3.9%		← 平均評価2.0以上評価3.0未満の施策数÷51施策×100
	評価1 … 指標を大きく下回った施策	0.0%		← 平均評価1.0以上評価2.0未満の施策数÷51施策×100

指標目標の 評価基準	指標目標の評価基準は下記のとおり。なお、()内は、減少指標目標の場合
	※ 達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100
	評価5 … 達成率 105%以上(95%未満)
	評価4 … 達成率 95%以上105%未満(同左)
	評価3 … 達成率 85%以上95%未満(105%以上115%未満)
	評価2 … 達成率 75%以上85%未満(115%以上125%未満)
評価1 … 達成率 75%未満(125%以上)	

平成30年度
施策評価の総括

指標目標を上回って達成した「評価5」が6施策。指標目標を概ね達成した「評価4」が34施策。両者を合わせると40施策、78.4%となった。また、「施策評価の平均」で見ると、全51施策の平均が4.02であった。重点的に、また新たな視点で取り組む施策である「NEXT&NEW」の平均は4.14で、両方とも、「評価4」以上を得ることができた。施策数やその割合で見ても、目標を超える評価を得ることができたことは、施策が着実に実施され、成果が挙がっていると判断できる。

とはいえ、昨年度の全施策平均は4.17、「NEXT&NEW」の平均は4.22であり、昨年度評価5や4であった施策のうち、5つの施策が3や2に下がっている。下がった要因としては、学習指導要領の改訂や、スマホ・SNSの急速な発達などの社会情勢の変化により、5年前に立てた指標目標と実態が合わなくなってきたことが考えられる。今後、各課において状況分析や改善策を講じ、平成31年度(令和元年度)の取組に反映させていく。

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進(p.17)	(NEXT)
--------	----------	-------	------------------------------	--------

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		20.0	50.0	75.0	85.0	92.0	5	107.1%
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0	91.0			
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0			
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56			
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4	100.0%
進捗状況	1	1.0	1.0	1.0	1.0			
指標5	環境教育事業の実施						H30評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	実施	実施	実施	実施	実施			
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発 ○学校訪問を通じた指導・助言	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○ESDを教育課程へ位置づけている学校が小学校で96%, 中学校82%と確実に増えている。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○年間2回実施される研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援	○年間2回実施される研究主任会での指導と支援 ○計画訪問, 要請訪問での指導と支援
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月11日) ○参加延べ生徒数16,131人
当初予算額 6,182千円	決算額 6,122千円
構成事業4 環境学習の充実(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を指定8校において実施 ○児童生徒が緑に親しみふれ合い, 自然の大切さや環境の保護に取り組もうとする思いや態度が育っている。
当初予算額 1,200千円	決算額 1,144千円
構成事業5 環境教育事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施	○子ども対象の環境事業や地域の清掃活動, 自然観察会を実施し自然や環境を学習する機会を提供し, 962人が参加
当初予算額 188千円	決算額 151千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	7,885 千円	H27	6,637 千円
H28	8,916 千円	H28	7,913 千円
H29	8,875 千円	H29	7,764 千円
H30	7,570 千円	H30	7,417 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	33,246 千円	合 計	29,731 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校があった。10月にアフタースクール学習支援員の研修会を行い、後期の指導に活かした。全体での一斉授業と個別の支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を全中学校で展開している。

○環境教育の一層の推進を図るため、市立小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校3校(南中野山小、鎧郷小、早通小)指定校9校(笹山小、竹尾小、上所小、亀田西小、金津小、庄瀬小、笠木小、山田小、岩室小)が事業を推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(竹尾小、岩室小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、環境問題を自分たちの問題としてとらえ、子どもたちの意識が高まった。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をとおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」を案内・募集し、8校(豊栄南小、南中野山小、関屋小、有明台小、曾野木小、早通小、西内野小、赤塚中)が事業を推進した。その結果、対象校の敷地内緑化が進み、子どもたちが自然とかかわり合う体験をとおして学ぶことができるようになってきた。

○アクティブ・ラーニングについては、研究主任の研修や学校訪問にかかわって、各校で重点化を図ることができるように働き掛けてきた。各校において主体的・対話的で深い学びを目指し、学校の実態に応じて重点化した研修の取組が推進され、授業改善に活かされている。

○クリーン作戦などの環境美化事業の開催や地域の自然・環境を考える講座を開催することで、身近な自然や環境を理解し、考える機会とした。

● 31年度の取組

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を働き掛けていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校から報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○全市立中学校に学習支援員を配置するとともに、5月の学習支援員連絡会等を通して新潟市の生徒の状況を踏まえた学習支援が引き続き展開されるように努める。

○新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科の特質に応じ、学びの過程全体を見渡した単元や題材などの構成や場面に応じた指導方法について、研修会や学校訪問での支援を継続し、アクティブ・ラーニングの質的向上を図る。

○地域住民や子どもを対象とした環境や自然を考える事業を実施するとともに、地域全体での環境美化事業を開催し、身近な環境や自然を考える機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進(p.18)
--------	----------	-------	------------------------------

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	キャリア教育の充実を目指して年間指導計画を作成、改善した学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	4	103.1%
進捗状況	97.0	100.0	100.0	95.8	98.8			
指標2	高等教育機関・関係機関より講師を招聘し、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力を育む授業をした学校の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4			
指標3	大学見学・職場見学、インターンシップ(就業体験)等を実施した学校の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	-	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 キャリア教育推進事業	
H30事業計画	H30事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○市立中学校にキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を配付 ○市立中学校での職場体験の推進 ○キャリア教育・年間指導計画の作成、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○「中学生のキャリア教育」を職場体験等で活用 ○市立中学校での職場体験を57校中56校で実施 ○キャリア教育・年間指導計画を約96%の小・中・特別支援学校で作成
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 市立高等学校キャリア教育推進事業	
H30事業計画	H30事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○高等教育機関や企業等からの講師による授業実施 ○大学見学・職場体験、インターンシップ等の実施 ○キャリア教育・年間指導計画の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○高等教育機関や企業等からの講師が参加参画する講義の実施 ○職場体験、インターンシップ等の実施 ○関東圏で大学見学の実施
当初予算額 971千円	決算額 910千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,699 千円	H27	1,325 千円
H28	197 千円	H28	1,315 千円
H29	1,214 千円	H29	1,105 千円
H30	971 千円	H30	910 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,081 千円	合 計	4,655 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用している。また、リーフレットを通して、中学生に身に付けてほしい基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリア・プランニング能力」）を示すことで、キャリア教育の全体計画や年間指導計画の中に明確に位置付けるように改善を進めている。

○外部の研修会参加や先進校視察を実施し、eポートフォリオや、主体性評価等の教育改革の動向を把握することによって、キャリア教育の充実を図った。

○外部講師を招へいし保護者対象講演会を実施することにより、家庭と一体化したキャリア教育の充実を図った。

○企業訪問を行い、実際にそこで働く人々から学ぶことで、主体的に自らのキャリアについて考える機会を設け、学習の意義付け並びに動機付けを図った。

○適性検査を実施したり、進路関係の図書を充実することにより、自己分析に基づいて進路探究を深めることができた。

● 31年度の取組

○市立中学校に配付したキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用できるようにする。

○キャリア教育で身に付けてほしい基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリア・プランニング能力」）を示し、その定着を意識しながら学習したり、生活したりできるように、キャリア教育の全体計画及び年間指導計画を改善できるように引き続き各学校に指導していく。

○市立中学校で実施している職場体験学習の実施状況を調査し、より多くの学校で充実した活動となるよう支援する。

○「キャリア・パスポート」の周知及び準備を促すと共に、2020年4月より、円滑な活用ができるように教材の例示や指導案を示すなど丁寧に支援する。

○市立高等学校等においては、大学や企業を訪問し、実際にそこで学ぶ人々や働く人々から学ぶことで、主体的に自らのキャリアについて考える機会を設け、学習の意義付け並びに動機付けを図る。

○高大接続改革と指導と評価の一体化に対応した進路指導の一層の充実を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

○「高大接続改革と指導と評価の一体化」に関して、「進路指導の一層の充実を図る」という記載がある。教育委員会では具体的にどの程度まで、もしくはどのような形で考えているのか、もし具体案があったら教えてほしい。
 ⇒市立高等学校キャリア教育推進事業や、文部科学省で推進している事業などを有効に活用している。今後は先進校の視察を行い、自校の取組に活かしてもらおうと考えているところである。また、大学入試が変わっていく中で、高校の授業自体も変えていかなければならないということが急務になっている。私どもも文部科学省に行って研修を受け、市立3校にしっかりと伝達をしたり、あるいは市立3校の先生方から文部科学省の説明会に行ってもらったりしている。最新の情報を得て、それを今後の学習指導、進路指導に活かしていきたいと考えている。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	4	101.5%
進捗状況	70.7	68.5	63.5	106.4	108.0			
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	4	99.8%
進捗状況	73.4	56.0	50.0	103.3	103.1			
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	4	100.6%
進捗状況	67.3	66.1	49.0	101.9	102.5			
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	4	101.8%
進捗状況	62.8	48.2	52.0	102.3	104.1			
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		84.0	84.5	85.0	86.0	86.0	4	92.6%
進捗状況	83.1	87.7	87.4	88.7	82.1			
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.5	71.0	72.0	73.0	74.0	5	109.3%
進捗状況	69.8	70.7	74.4	74.3	81.2			
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.5	81.0	84.0	84.0	4	94.3%
進捗状況	79.1	85.0	84.2	86.1	81.2			
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	5	116.3%
進捗状況	69.0	70.5	71.6	73.2	85.1			

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学力実態調査	
H30事業計画	H30事業成果
○市立全中学校2年生に学力調査(CRT)を実施(理科, 英語) ○学力実態報告書の作成・配付	○市立全中学校2年生に学力調査(CRT)を実施 ○学力実態調査を作成し、各校に配布 ○新潟市全体(市立)の傾向を市のホームページに掲載
当初予算額 4,374 千円	決算額 4,108 千円
構成事業2 学力定着支援事業	
H30事業計画	H30事業成果
○小学校3・4・5・6年生と市立中学校全学年用の算数・数学の単元評価問題の作成・配信(年9回) ○理科の評価問題を作成・配信(年4回) ○分析結果をたよりで広報	○小学校3・4・5・6年生の算数と市立中学校全学年の数学の単元評価問題及びサポート問題を年9回配信 ○小学校5年生, 市立中学校2年生の理科の評価問題を年4回配信
当初予算額 506 千円	決算額 506 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月11日) ○参加延べ生徒数16,131人
当初予算額 6,182 千円	決算額 6,122 千円
構成事業4 学習支援員派遣事業	
H30事業計画	H30事業成果
○教員を目指す大学生を学習支援員として派遣し、児童生徒へのきめ細かな学習指導を支援 ○連絡調整費として一回につき1,000円を支給。一人当たりの上限を30回とし、113名の派遣	○学習支援ボランティア派遣プロジェクト, 未来の先生プロジェクトにおいて、194名の学生を86校の学校園に派遣した。延べ回数3,007回
当初予算額 4,800 千円	決算額 3,007 千円
構成事業5 理科大好きプロジェクト	
H30事業計画	H30事業成果
○理科支援員の配置	○理科支援員を31校に配置 ○理科の授業の「観察・実験の回数」「計画性」「予備実験の有無」「安全性」「きめ細やかな指導」などのアンケート項目で、すべて9割以上の肯定的評価が得られた。
当初予算額 2,657 千円	決算額 2,582 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は、新任校長対象。) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会	○本事業にかかる研修会を開催し、学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事あわせて延べ1092名が参加 ○市民へ周知のため, ウェルカム参観日を17校で実施
当初予算額 138,449 千円	決算額 137,368 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,582 千円	H27	18,877 千円
H28	19,639 千円	H28	17,810 千円
H29	20,405 千円	H29	16,939 千円
H30	18,519 千円	H30	16,325 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	78,145 千円	合 計	69,951 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

- 【全国学力・学習状況調査による学力実態:正答率】(市立学校)
- ・国語A 小学校:73.4%(全国比+2.7), 中学校:76.4%(全国比+0.3)
 - ・国語B 小学校:59.1%(全国比+4.4), 中学校:62.7%(全国比+1.5)
 - ・算数数学A 小学校:66.3%(全国比+2.8), 中学校:67.6%(全国比+1.5)
 - ・算数数学B 小学校:53.1%(全国比+1.6), 中学校:48.8%(全国比+1.9)
 - ・理科 小学校:62.0%(全国比+1.7), 中学校:67.1%(全国比+1.0)
- 成果指標5および7「発表の機会が与えられていたと思うか」の質問が今年度なかったため、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の肯定評価値を入力した。
- 学校訪問の継続により、学校で組織的な授業改革の取組が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し、継続的に授業マネジメント研修を行うことで確実に定着してきたと考えられる。また、中学校の授業改革が進んできた。8月の各教科教諭全員を集めての授業づくり研修が成果につながっている。
- 算数・数学の単元評価問題等の配信を継続し、活用問題を加えた。単元配信の活用方法が定着してきていると同時に、指導の要点を基に指導を行い、評価問題に取り組む学校が増えてきた。
- 5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校があった。10月にアフタースクール学習支援員の研修会を行い、後期の指導に活かした。全体での一斉授業と個別の支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を全中学校で展開している。
- 理科支援員配置の希望の募集を行い、82校の希望があり、これまでの配置状況から検討し、今年度31校に理科支援員を配置した。各校で有効に活用され、理科の授業の観察・実験等が円滑に進められたという肯定的なアンケート結果が得られた。
- 7月末までに97人の学習支援ボランティアが登録され、授業等の補助などに当たり、各校で有効に活用されているとともに感謝の声が寄せられた。
- * 地域と学校パートナーシップ事業については、「9-1)地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」の記載内容を参照

● 31年度の取組

- 毎月集約する理科支援員の出勤状況を管理しながら、支援員の活用が計画的に実施されるよう指導・助言を行う。31年度も、4月に理科支援員の配置希望を取り、6月から31校に理科支援を配置する。
- 学習支援ボランティアの対象となる要件を検討し、より多くの学生が事業に参加できるようにする。
- 全市立中学校に学習支援員を配置するとともに、5月の学習支援員連絡会等を通して新潟市の生徒の状況を踏まえた学習支援が引き続き展開されるように努める。
- * 地域と学校パートナーシップ事業については、「9-1)地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」の記載内容を参照

● 推進委員からの意見・要望等

- 文部科学省は英語教育実践状況調査を行っている。中学3年生で英検3級以上を想定した学力をもつ生徒は全国で40%くらい。それに対して新潟県の値は30%台であり、英語に関しては全国平均に及ばない。全国学力調査以外の教科の対策について、何か考えがあるか。
- ⇒英検の所持率は、新潟市も低い状況である。検定を受けるように校長会等を通じて働きかけている。さらに、教員についても英検を受けることに対して補助をしている。しかし、なかなか数値が上がってこないというところは確かである。今年度の全国学力・学習状況調査で初めて英語の「話すこと」調査が導入されたが、結果が夏には出る予定である。その結果を見ながら、まず外国語(英語)について対策を進めていく。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	4	133.3%
進捗状況	-	25.0	50.0	75.0	100.0			
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○ASP総合推進会議, ASP推進委員会, ASP評価・サポート委員会を開催し, ASPの改善点の検討を実施 ○ASP研修会の開催, 活用のポイントを周知		○総合推進会議, 推進委員会, 評価・サポート委員会, アグリパークを語る会などを開催し, ASPの改善点を明確にし, 各学校に周知 ○ASP研修会を4回(うち1回は宿泊研修)の開催, 活用のポイントを周知	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○第1回ASP(アグリ・スタディ・プログラム)総合推進会議を5月15日に実施。第1回ASP推進委員会を6月13日に実施。ASP評価・サポート委員会を6月13日,7月25日,12月10日に実施し,ASPの改善点の検討を実施

○2月4日にアグリパークを語る会の内容を検討・改善し,実施。

○ASP研修会の4回開催,活用のポイントを周知

●31年度の取組

○食と花の推進課との連携を常に取りつつ,ASP総合推進会議,ASP推進委員会,ASP評価・サポート委員会を適切に実施し,新潟市内の学校・園にASPを広げていく。

○改善点に基づいたASP研修会を開催し,ASP活用のポイントを周知し,年間指導計画への位置付けを促進する。ASP成果発表会,アグリパークを語る会を準備・運営していく。

●推進委員からの意見・要望等

基本施策	1 確かな学力の向上	施策(5)	学習習慣の定着(p.21)
------	------------	-------	---------------

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.8	51.9	57.7	62.6	65.4	4	104.5%
進捗状況	-	51.8	57.6	62.5	65.3			

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習習慣定着事業	
H30事業計画	H30事業成果
○家庭学習実態調査の実施 ○啓発活動の推進(HP・支援課広報紙「サポート」等)	○「新潟市生活・学習意識調査」家庭学習実態にかかわる調査を実施(11月) ○家庭学習習慣確立のための教師用リーフレットに基づいた取組の啓発(通年)
当初予算額 109 千円	決算額 106 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	534 千円	H27	223 千円
H28	398 千円	H28	343 千円
H29	223 千円	H29	239 千円
H30	109 千円	H30	106 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,264 千円	合 計	911 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○全教職員に配付したリーフレットを活用した各校での家庭学習習慣定着への取組により、教職員、児童生徒の意識が高まった。家庭学習を1時間以上する中学2年生が2.8%増加した。

○市立小・中学校ともに、全校体制で家庭学習習慣定着に取り組む学校が増加している。「十分取り組んでいる」と回答した割合が、昨年度比で小7.1%、中で5.2%増加した。

●31年度の取組

○学校訪問の全体指導、研究主任を対象とした研修、広報紙「サポート」を活用し、先進的な取組を紹介し、各校への啓発を継続する。

●推進委員からの意見・要望等

○指標1に設定されている家庭学習は、何を想定した家庭学習と捉えているか。また、「中学2年生の1時間以上の学習」を家庭学習定着の指標としている理由は何か。

⇒家庭学習の中には、宿題等も含めてカウントしている。

⇒設定した背景を十分に把握していない。しかし、中学2年生で1時間は確かに少ない。家庭学習の定義及び目標とする時間の設定については、学校の実態等を十分に踏まえて検討していく。

○新潟県は全体的に中学生の学習時間は少ないが、改善目標として市教育委員会としては、どんなところを目指すのか。

⇒何時間やったからいいという、数値だけではなく、そこに向かう子どもの意欲とか自主性とか、そういった点を大事にしていきたい。ただ、目標となる「何時間」というのはやはり必要であり、内容面と量の面とでどのように目標を設定していくのかということは、現場の先生方の声なども聞きながら設定していく。

●H30施策評価

3期進捗平均
3.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	3	101.1%
進捗状況	77.2	75.6	46.8	74.7	75.5			
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	5	97.6%
進捗状況	55.1	62.1	55.2	71.9	70.2			
指標3	中学生の不読率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	2	92.1%
進捗状況	12.1	12.3	11.8	11.4	12.3			
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	3	156.3%
進捗状況	2.7	1.0	1.1	1.6	2.5			
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	0						H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校図書館活用推進校事業	
H30事業計画	H30事業成果
○小学校22校, 中学校14校を学校図書館活用推進校として指定 ○年度末(2月)に実践発表会開催 ○HP, 学校支援課だより「サポート」で代表的実践紹介	○小学校22校, 中学校14校を学校図書館活用推進校として指定し, 2月に区ごとに実践報告会を開催 ○学校支援課だより「サポート」, 新潟市HPに平成30年度推進校の実践事例を掲載
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 学校図書館支援事業	
H30事業計画	H30事業成果
○蔵書システム運用サポート体制維持, 公務出張対象研修の運用による支援(4月～) ○学校図書館地域開放実施(7, 8月) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催, 次年度司書配置(3月)	○蔵書管理システム運用サポート体制の維持 ○夏季休業中の学校図書館地域開放実施(94校) ○学校図書館支援センター運営検討委員会の開催 ○司書の全校配置
当初予算額 245千円	決算額 214千円
構成事業3 学校図書館支援センター事業	
H30事業計画	H30事業成果
○学校図書館訪問, 相談対応 ○新任学校司書研修, 学校司書実務研修 ○学校貸出図書搬送事業 ○学校貸出セット「オレンジBOX」追加整備と貸出	○学校図書館訪問 298回 ○相談対応 1,730件 ○新任学校司書研修6回, 実務研修5テーマ6回実施 ○学校貸出図書搬送56,820冊 ○学校貸出セットの図書を更新
当初予算額 2,110千円	決算額 1,427千円
構成事業4 新聞活用の推進【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○推進校における, 新聞活用教育の授業実践の支援 ○年度末(2月)に実践報告集を各校に配付	○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定。 ○推進校を核とした新聞活用教育の授業実践の推進 ○実践報告集の配付及び啓発
当初予算額 109千円	決算額 106千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,160 千円	H27	1,888 千円
H28	2,521 千円	H28	1,928 千円
H29	2,055 千円	H29	2,155 千円
H30	2,464 千円	H30	1,747 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	9,200 千円	合 計	7,718 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

◎学校図書館活用推進校として、小学校22校、中学校14校を指定し、5月に学校図書館活用推進校研修会を実施した。「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるための取組について共通理解を図った。2月の実践報告会では3つのセンターの機能を意識した取組が報告された。

◎新聞活用教育(NIE)推進校として、各区1校(小学校8校、中学校8校)を4月に指定し、新聞を複数紙配備した。各校の新聞活用計画に基づき実践が進められた。

○学校司書を全ての市立学校(小・中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校)に配置するとともに、蔵書管理システムの円滑な運用を図るためのサポートを継続して行った。

◎夏季休業中に市立小・中学校の学校図書館の地域開放を行い、子どもたちのほか、保護者や地域の方々にも学校図書館への理解を深めてもらうことができた。

◎学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・市立小・中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の全校を訪問し、学校図書館の運営や活用状況を聞き取り、業務相談に応じた。
- ・新任学校司書研修を6回実施。学校司書実務研修では、全員を対象とした「新学習指導要領を学ぶ～これから求められる学校図書館とは」や各学校図書館支援センターごとの研修を実施し、学校司書のスキルアップや業務の平準化を進めた。
- ・市立図書館から学校への団体貸出や学校貸出図書搬送により、授業や読書活動を支援した。学校貸出セット【オレンジBOX】は、学校での活用状況から資料を厳選し、近年に出版された本を追加した。また、中学校古典のブックリストを追加した。
- ・『新潟市学校図書館実務マニュアル』の改訂を行った。
- ・学校図書館支援センターホームページの内容の充実を図るとともに、学校図書館大会での実践発表や講師派遣など、新潟市の学校図書館の取組の情報を広く全国に発信した。

●31年度の取組

◎「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるために有効だった実践例を各校に周知し、授業での活用を促す。

◎年度末(2月)に学校図書館活用推進校実践発表会を行う。各校の優れた実践を共有し、次年度の実践に活かすことができる研修会になるよう、運営の仕方・内容を工夫する。

◎新聞活用計画(NIE)推進校として、小学校13校、中学校3校を4月に指定し、新聞を配備し、各校の新聞活用計画に基づき実践を進める。実践報告集をもとに、事業推進に効果的な取組を各学校に周知する。

○全ての市立学校(小・中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校)への学校司書の配置を継続する。蔵書管理システムの円滑な運用を図るため、サポート体制を引き続き整備する。

◎夏季休業中に市立小・中学校の学校図書館の地域開放を行い、子どもたちのほか、保護者や地域の方々にも学校図書館への理解を深めてもらう。

◎学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・市立小・中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の全校を訪問するほか、新任学校司書配置校等には個別に支援を進める。また、異校種間の連携を深め、子どもの発達段階に応じた計画的な図書館教育を目指し、小中連携事例の情報提供とコーディネートを行う。
- ・新任学校司書研修を6回実施。学校司書実務研修については、各支援センターで担当区の実情に応じたテーマを設定し、実施する。
- ・市立図書館から学校への団体貸出、学校貸出図書搬送を継続実施する。学校貸出セット【オレンジBOX】は、平成32年度の小学校の教科書改訂に向けて、セット内容を検討する。
- ・学校図書館支援センターホームページの内容の充実を図るとともに、新潟市で開催される北信越地区学校図書館研究大会への協力などにおいて、新潟市の学校図書館の取組の情報を広く発信する。

●推進委員からの意見・要望等

○「中学生の不読率」が「2」となっているが、1年間をとおして、全く本を読まない中学生が、これだけの割合いるということか。
⇒残念な数値だが、インターネットの普及であったり、子どもたちの生活が一変したりしていることから、なかなか本にじっくりと向き合う時間が取れない、そういう意欲もなかなか身に付いていないという現状から約10パーセント前後の数値になっていると考えられる。電子書籍等が普及しており、それを通じて読書をする生徒も多くなってきている。その辺の数字の取り方についても考慮に入れ、今後質問の内容を検討していく。
※平成30年度新潟市生活・学習意識調査(総合教育センター集計による市立中学校全生徒へのアンケート結果)の項目による。対象項目:「この1か月に本をどれくらい読みましたか。(教科書、参考書、マンガ本、雑誌を除きます。)」

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	5	105.8%
進捗状況	79.8	78.5	80.3	82.1	86.9			
指標2	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	5	107.0%
進捗状況	70.6	72.4	71.5	75.5	80.8			
指標3	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	3	98.9%
進捗状況	96.0	95.2	—	90.4	89.4			
指標4	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	3	100.9%
進捗状況	96.1	95.6	—	90.2	91.0			
指標5	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	4	100.3%
進捗状況	97.5	97.1	97.6	97.8	98.1			
指標6	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.3	95.0	95.0	95.0	4	102.6%
進捗状況	94.3	95.2	94.8	94.6	97.1			
指標7	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	5	103.0%
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4	97.2			
指標8	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	4	76.3%
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8	28.1			
指標9	家庭教育学級数(講座)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69	3	98.5%
進捗状況	63	68	68	66	65			

●施策を構成する事業

構成事業1 道徳教育の充実、福祉教育の充実、人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業の実施 ○市立小・中学校教員を対象にした道徳教育研修会を実施 ○人権教育、同和教育に関する研修会の実施 ○男女平等教育のための資料作成と配付	○小・中学校8校で道徳教育パワーアップ研修会を実施 ○市立中学校の道徳主任を対象とした研修会の実施 ○人権教育、同和教育に関する研修会を実施 ○男女平等教育の資料を活用	
当初予算額	3,152 千円	決算額 1,686 千円
構成事業2 家庭教育振興事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校)	○出産前から思春期・孫育てなどの家庭教育学級65講座を実施 ○子育て学習出前講座の実施(小103校, 中16校) ○朝ごはん料理講習会の実施(33回, 参加者919名)	
当初予算額	10,660 千円	決算額 10,036 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	420,420 千円	H27	9,274 千円
H28	13,051 千円	H28	11,009 千円
H29	16,014 千円	H29	14,138 千円
H30	13,812 千円	H30	11,722 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	463,297 千円	合 計	46,143 千円

注:再掲事業分を含む

<前ページの指標目標の設定型>

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

● 30年度の取組に対する評価

- 市立中学校道徳教育推進教師を対象とする研修会を実施した。
- 市立小・中学校から推進校8校を選定し, 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を委託した。
- 人権教育, 同和教育の研修会を18中学校区60校で実施し, 教職員の人権感覚を高めることができた。
- 福祉読本を9割以上の学校で活用することができた。総合的な学習の時間を中心に活用が進んでいる。
- 男女平等教育の資料を99%の学校で活用することができた。学級活動や道徳, 進路指導などの年間計画に位置付けた確実な実践が進んでいる。
- 出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長期に合わせた家庭教育学級や父親学級を実施することにより, 子育ての知識や情報, 親としての関わり方などを学ぶ機会を提供し, 家庭教育の充実を図った。また, 家庭教育学級の中に土日の開催も取り入れることで, 平日に参加できない保護者へ学習の機会を提供したり, パートナーと一緒に参加してもらい, 夫婦で子育ての意識を共有することができた。
- 市立小中学校と連携して, 就学時健診や新入学学校説明会など保護者が集まる機会に, 家庭教育の大切さやインターネット・SNSの利用についての講演を行う「子育て学習出前講座」の実施を呼びかけ, 119校で実施した。
- 子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため, おはよう朝ごはん料理講習会を34のコミュニティ協議会等の地域団体と協働で実施した。

● 31年度の取組

- 市立小・中学校の全教職員に道徳教育リーフレットを配布する。
- 市立小・中学校の道徳教育推進教師を対象とした道徳教育研修会を開催する。
- 人権教育, 同和教育の研修会を各中学校区で実施する。
- 男女平等教育については, 配付した資料の活用を各校にさらに奨励していく。今年度, 資料の改訂を行う。
- 引き続き, 子どもの成長期に合わせた家庭教育学級を開催し, 子どもの発達や接し方, 親としての在り方を学ぶとともに, 保護者同士の交流を図る。また, 夫婦で参加してもらい子育ての意識を共有できるような機会を提供していく。休日や夜間に家庭教育学級を開催することで, ひとり親家庭など様々な生活環境にある保護者も参加しやすいように, 開催曜日や時間を考慮して講座を開催していく。
- 市立小・中学校と連携して, 就学時健診や新入学学校説明会などが開催される機会に, 子育て学習出前講座を開催し, 家庭教育の意識啓発を図る。
- 規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さや規則正しい生活リズムの重要性を啓発していくため, 早寝早起き朝ごはん推進事業に関連した事業を, 地域や諸団体と連携しながら, 実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.7	66.7	67.0	70.0	75.0	5	92.1%
進捗状況	61.1	83.3	69.2	90.9	83.7			
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	97.0	97.0	4	100.9%
進捗状況	96.2	99.1	95.8	97.4	98.3			
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	95.0	95.0	4	102.3%
進捗状況	94.5	96.3	98.1	94.2	96.4			
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.38	0.38	0.38	0.40	0.64	#####	#####
進捗状況	0.40	0.44	0.47	0.56	未発表			
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.65	2.62	2.60	2.64	3.23	#####	#####
進捗状況	2.69	2.64	2.98	3.11	未発表			
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 いじめ対策等生徒指導推進事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○本市の生徒指導の考え方・体制について周知を図るための研修会の実施 ○いじめ防止に関する会議の開催 ○新潟市いじめ防止フォーラムの開催	○いじめの積極的な認知と組織的な対応を推進するための研修会や指導を実施 ○いじめ防止に関わる管理職・生徒指導担当教諭への研修を実施 ○いじめ防止市民フォーラムを開催 ○いじめ不登校初期対応ガイドブックを作成配布。	
当初予算額	210 千円	決算額 558 千円
構成事業2 教育相談ネットワーク事業・カウンセラー等活用事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○スクールカウンセラーを全ての市立小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校に配置	○教育相談センターによる, 教育相談を延べ14,582回実施。スクールカウンセラーをすべての市立小・中・高・中等教育学校に配置するとともに, 必要に応じて緊急でスクールカウンセラーを派遣した。	
当初予算額	79,676 千円	決算額 78,987 千円
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額		決算額 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	88,651 千円	H27	89,742 千円
H28	83,419 千円	H28	81,800 千円
H29	80,653 千円	H29	81,690 千円
H30	79,886 千円	H30	79,545 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	332,609 千円	合 計	332,777 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○いじめ・不登校の適切な対応のために平成30年4月に「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」を作成し全教職員へ配付した。配付に伴い、校長対象の説明会を実施し、いじめ・不登校の初期対応についての考え方や体制・組織等についての周知を図った。

○児童・生徒の自律性・社会性の育成及び問題への適切な対応に向けて、学校訪問等の機会をとらえて、指導・支援を行った。

○「新潟市いじめ防止市民フォーラム」を実施し、教職員・保護者・地域を対象に、新潟市の取組と、いじめの対応について学ぶ機会を持った。

○「いじめ防止市民連絡協議会」「いじめ防止対策等専門委員会」を計画的に実施し、いじめの現状について情報共有を図るとともに、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った。

○市立各学校からの欠席報告を確実にし、各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の意識を高めた。不登校数の多い学校には、直接学校訪問し、減少に向けた取組について指導した。

○不登校児童生徒に対する組織的な支援と小中一貫した継続的な支援のために「児童生徒理解・教育支援シート」の活用推進を図った。

○カウンセラー配置・派遣では、スクールカウンセラーを全ての市立学校に配置し、児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリングと校内研修の助言等を行い、児童生徒、保護者が抱えている問題の解決または一定の解消が見られた。

○H30年5月に起きた西区小学生女児殺害事件の際に、当該小学校児童・保護者及び教職員に対して、緊急スクールカウンセラーを派遣し、児童・保護者及び教職員の心のケアを実施し、心的不安に対する解消が見られた。

● 31年度の取組

○「いじめ防止市民連絡協議会」「いじめ防止対策等専門委員会」「新潟市いじめ防止市民フォーラム」を開催する。

○学校訪問等を通じて、児童生徒の自律性・社会性の育成及び、「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」の活用に向けた指導を継続する。

○市立の各学校からの欠席報告を各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の取組を継続して行う。

○「児童生徒理解・教育支援シート」の活用について、不登校担当者研修会において演習を行い、理解を深める。

○生徒指導に関わる教職員研修を、総合教育センター・教育相談センターと連携し、系統的に実施する。

○カウンセラーの派遣を適切かつ必要性に応じて全ての市立学校に行うとともに、学校・カウンセラーとの連携を密に、日常的・緊急的な生徒指導を継続して展開する。

● 推進委員からの意見・要望等

○「いじめ解消率(%)」というのは、「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合ということだが、このモニタリングの根拠(指標)は、どのようなものか。
⇒この数値は、文部科学省で行っている問題行動調査を基にしている。学校がいじめを認知したと報告があったものについて「発生」とカウントしている。「解消」についても、学校での経過をしっかりと見ながら「解消した」、「一定の解消が見られた」という報告のあった数値を、学校支援課でも確認しながら判断をし、解消率としている。

●H30施策評価

3期進捗平均
3.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	自然体験学習を実施した学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		94.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	102.9%
進捗状況	94.6	96.4	95.3	95.3	98.1			
指標2	子供向け体験活動事業参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	3	95.5%
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670	18,782			
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 自然体験学習の支援	
H30事業計画	H30事業成果
○体験学習の意義等の周知	○小学校106校中104校が本事業を活用 ○豊かな自然環境の中で集団宿泊活動を実施できた学校が98%
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	
H30事業計画	H30事業成果
○土日や長期休業期間に家庭や学校ではできない集団活動や多様な体験活動事業の実施	○自然体験や工作, 文化活動などの様々な体験講座を開催
当初予算額 2,320千円	決算額 1,693千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	15,244 千円	H27	17,494 千円
H28	14,418 千円	H28	13,726 千円
H29	9,312 千円	H29	8,792 千円
H30	2,320 千円	H30	1,693 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	41,294 千円	合 計	41,705 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○今年度より1学級当たり3万円のバス代補助が削減されたが、各学校では、例年同様、アグリパーク、胎内少年自然の家、五頭少年自然の家、妙高少年自然の家、佐渡等で、子どもたちの自然体験学習(野外炊飯、キャンプファイヤー、自然観察等)が活発に行われた。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、家庭や学校ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、異年齢や異なる学校の子どもたち同士の交流を図った。

●31年度の取組

○これまでどおり活発な活動が継続していくように、自然体験活動の意義等を各学校に周知していく。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休業期間に自然活動や物づくり、文化活動などの体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	優れた音楽や芸術に触れる機会の提供(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2	2	4	66.7%
進捗状況	4	3	3	3	2	0		
指標2	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	103.1%
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101	6,293	0		
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 優れた音楽・芸術に触れる機会の提供	
H30事業計画	H30事業成果
○「こころの劇場」招待公演の開催 ○文化芸術による子どもの育成事業 巡回・派遣公演 ○事業内容の検討	○「こころの劇場」招待公演の実施 ○文化芸術による子どもの育成事業巡回・派遣公演を19校で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 伝統文化の体験学習(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	○子ども大凧合戦などの地域の伝統行事や伝統文化に触れることのできる機会を提供
当初予算額 1,448千円	決算額 821千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	32,396 千円	H27	40,279 千円
H28	40,579 千円	H28	39,269 千円
H29	39,771 千円	H29	36,789 千円
H30	1,448 千円	H30	821 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合 計	114,194 千円	合 計	117,158 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○市立小学校46校,6年生児童2418名を招待する「こころの劇場(王様の耳はロバの耳)」が実施された。10月1日(月)10月2日(火)の2日間であった。

○和太鼓や管楽器など地域の伝統や文化を体験することにより,子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

○新潟漆器の絵付けや南区の大凧合戦,地域の伝統行事など各地域の特色ある伝統文化を体験することにより,子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承するとともに地域への愛着心を育む機会とした。

● 31年度の取組

○こころの劇場は,10月15日(火)16日(水)に公演予定である。

○身近な地域や日本の伝統文化を体験する機会を提供することにより,子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さと郷土への愛着心を育んでもらう機会とする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	中学校の体力テストの各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	52.0	47.0	54.0	55.0	5	114.7%
進捗状況	52.1	47.9	47.9	56.3	64.6			
指標2	運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.5	82.0	82.0	82.0	85.0	4	102.2%
進捗状況	79.2	77.6	77.8	78.1	79.8			
指標3	運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		58.0	59.0	-	-	-		
進捗状況	56.7	55.8	-	-	-	-		
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「体力向上ジャンプアップ」推進事業	
H30事業計画	H30事業成果
○「体力向上ジャンプアップ」を市立小・中学校ごとに集約, 情報提供	○「体力向上ジャンプアップ」を市立小・中学校毎に集約し, 各校へ配付及び研修会でのよい取組の紹介
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「体力向上・運動大好きプロジェクト」	
H30事業計画	H30事業成果
○体力向上指導者養成研修へ2名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回・幼稚園1回・中学校1回) ○CD「学校体育のあしあと」作成, 市立学校全校へ配付	○体力向上指導者養成研修へ2名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回, 幼稚園1回, 中学校1回) ○CD「学校体育のあしあと」作成, 全市立学校へ配付
当初予算額 142千円	決算額 164千円
構成事業3「中学校部活動エキスパート・サポート事業」	
H30事業計画	H30事業成果
○運動部エキスパートとして50名以上を派遣 ○運動部サポーターとして40名以上を派遣	○運動部における競技力及び体力の向上を図るため, 部活動エキスパート58名, サポーター44名派遣
当初予算額 4,452千円	決算額 4,455千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6「地域と学校パートナーシップ事業【再掲】」	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,681 千円	H27	4,511 千円
H28	4,675 千円	H28	4,376 千円
H29	4,707 千円	H29	4,492 千円
H30	4,594 千円	H30	4,619 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	18,657 千円	合 計	17,998 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○体力向上ジャンプアップを集約し、市立各校に配付できた。今年度は、各校の目標分類一覧や、独自の取組を紹介するページを作り、各校で実践に生かせるよう改善した。

○スポーツ庁主催体力向上指導者養成研修(東部ブロック)へ2名派遣した。2人とも、「新しい情報を吸収でき研鑽できた」と成果を実感できた。研修後には、市立学校体育指導伝達講習会で講師役を務めるとともに、夏季休業中には各勤務校で研修会を実施した。機会のあるごとに、体育指導者に学んだことを広めさせた。

○伝達講習会(小学校2回・幼稚園1回・中学校1回)を実施した。市立各小学校、中学校及び幼稚園から1名以上の参加があり、各校園での伝達講習会が進んだ。

○市立各学校での授業実践と研究や体育事業を「学校体育のあしあと」として実践内容をまとめ、市内全学校に配付し情報発信を行った。

○文部科学省の部活動ガイドラインに基づいて、各校が練習時間を調整して減らしたり、外部指導員を活用して担当者の指導時間を減らしたりして、部活動の運営について改善が進んだ。

● 31年度の取組

○スポーツ庁主催体力向上指導者養成研修(東部ブロック)へ3名以上を派遣し、30年度と異なる領域に関する講習を受けさせる。31年度は、引き続き新潟市単独で指導伝達講習会を開催し、市立各学校での体育指導の充実、発展に寄与する。

○市立各学校での授業実践と研究及び体育授業をさらに実りのあるものにすることが求められる。そのために、市小研、中教研、中体連の組織を生かすとともに、運営に関する支援を進める。さらには、年度末に「学校体育のあしあと」として実践内容をまとめ、多方面への情報発信を行う。

○部活動ガイドラインに基づき、部活動指導員の配置を進め、適切な部活動運営を継続する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	肥満傾向の児童生徒の割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		6.44	6.07	5.69	5.32	5.30	1	98.6%
進捗状況	6.82	6.68	6.92	6.91	7.01			
指標2	中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.51	0.46	0.41	0.36	0.30	3	111.4%
進捗状況	0.56	0.53	0.51	0.44	0.39			
指標3	健康診断の確実な実施(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2	2	4	100.0%
進捗状況	2	2	2	2	2			
指標4	研修会の実施(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		6	6	7	7	7	5	100.0%
進捗状況	6	6	6	9	9			
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 児童生徒の生活習慣病予防対策事業	
H30事業計画	H30事業成果
○パンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4, 中1の希望者に血液検査などの健診を実施 ○健診結果説明会の開催 ○健康相談会の実施	○6月にパンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4(1,001名), 中1(653名)の希望者に血液検査などの健診を実施
当初予算額 7,330 千円	決算額 7,125 千円
構成事業2 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業	
H30事業計画	H30事業成果
○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施	○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施(幼稚園10園全園実施済 100%・小学校106校中93校実施済 76.6%・中学校57校中8校実施済 14.0%)
当初予算額 11,736 千円	決算額 10,330 千円
構成事業3 各種健康診断事業	
H30事業計画	H30事業成果
○就学時健康診断 ○定期健康診断	○就学時健康診断の対象者6,171名(H30/10/1現在)6,139名実施 ○定期健康診断の実施
当初予算額 196,484 千円	決算額 190,804 千円
構成事業4 健康教育に関する研修の充実	
H30事業計画	H30事業成果
○保健主事研修 ○養護教諭研修 ○保健の授業づくり ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会 ○がん教育研修会	○保健主事研修 ○養護教諭研修(2回) ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会 ○プールの安全衛生研修会 ○がん教育研修
当初予算額 1,550 千円	決算額 1,063 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	224,064 千円	H27	213,091 千円
H28	219,969 千円	H28	210,704 千円
H29	221,007 千円	H29	214,399 千円
H30	217,100 千円	H30	209,322 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	882,140 千円	合 計	847,516 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、生活習慣病予防パンフレットを小学校4年生及び中学校1年生の保護者に6月に配付し、各学校で指導するとともに、夏休み期間を利用して、小学校4年生と中学校1年生の希望者に生活習慣病健診を実施した。生活習慣病健診は小学校4年生1,001人、中学校1年生653人、計1,654人が受診した。受診率は12.7%で、昨年度に比べ0.3%の増となった。

○児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施するための準備を行った。小学校103校、中学校22校、中等教育学校0校、特別支援学校2校、計127校で実施し、歯科保健教育に関する意識の向上が図られた。フッ化物洗口については、小学校12校の新規立ち上げを実施し、教職員及び保護者説明会、希望調査、洗口練習とステップを踏み、丁寧に説明することで、フッ化物洗口に関する正しい知識を周知し、十分な理解を得たうえで進めることができた。

○各種健康診断事業については、学校保健安全法に基づく定期健康診断及び精密検査を予定どおり実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理や指導に努めるとともに、小学校就学予定者に対する就学時健康診断を円滑に実施できる準備を整えた。また、運動器の機能に関わる検査については、新潟大学整形外科教授や市内の整形外科医を中心とした検討委員会において助言をいただきながら進めており、着実に実施することができた。

○健康教育に関する研修の充実については、アレルギー疾患への対応、感染症、生活習慣病、喫煙や飲酒、薬物乱用、いじめや不登校、虐待など多岐にわたる健康課題の解決に向け、これらの的確な対応、適切な指導を求められており、養護教諭の専門的な資質や技量の向上のため研修を実施している。また、「がん教育総合支援事業」を展開するため、推進校3校を指定し、準備を進めた。

● 31年度の取組

○児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、要医療者に受診勧奨を行い、要指導者には事後の健康相談への参加を促している。また、健診結果集計データについては、学校における保健指導の資料として活用するとともに、平成31年度の健診対象者に前年度のうちから勧奨を行い、受診希望者の掘り起こしを行っていく。なお市立高校3校の生徒には、生活習慣指導を行い、小学校・中学校との継続指導を実施する。その他、新規事業として、生活習慣病健診結果説明会や健康相談を実施する。

○児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、歯科衛生士の協力を得て、希望する学校に歯科衛生士を派遣し、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施する。フッ化物洗口については、平成30年度の新規立ち上げ校小学校13校がフッ化物洗口を開始するための準備を着実に進めていく。平成31年度末で実施校・園数は、市立幼稚園全10園、小学校全106校、中学校8校となる予定であり、フッ化物洗口を着実に広めていくことで、健康で丈夫な歯づくりを進め、う歯の有病者率を抑制していくことができると考えている。

○各種健康診断事業については、定期健康診断及び精密検査の結果を集計し、学校保健統計資料を取りまとめるとともに、要精密検査の受診勧奨を行っていく。また、昨年度に導入された成長曲線・肥満度曲線の活用についても、引き続き研究していく。

○健康教育に関する研修の充実については、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に的確に対応するため、学校におけるアレルギー疾患への対応研修会及び学校保健研修会を養護教諭や学校保健関係者に広く呼びかけて、充実した研修会を開催する予定である。また、「がんの教育総合支援事業」については、がん教育研修会や推進校3校において実践的な取組を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.2

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	児童生徒の朝食欠食率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	1	93.8%
進捗状況	1.4	1.4	1.5	1.6	1.7			
指標2	給食の残食量の減少(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3.20	3.15	3.10	3.05	3.00	5	135.7%
進捗状況	2.80	2.70	3.30	4.20	2.70			
指標3	スクールランチ利用率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		68.7	68.7	69.2	69.6	70.0	4	98.5%
進捗状況	68.7	69.3	68.9	68.4	67.4			
指標4	地場農林水産物の使用率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		15.8	15.8	15.8	15.9	16.0	4	97.5%
進捗状況	15.8	16.7	16.6	16.0	15.6			
指標5	おはよう朝ごはん料理講習会実施か所数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		36	37	38	39	40	2	86.8%
進捗状況	34	39	39	38	33			
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「食に関する指導」推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○食育指導者の派遣 ○研究推進校の指定(4校, H29-30) ○栄養教諭等研修会の開催 ○食に関する指導研修会の実施	○食育指導者の派遣(17校, 延べ42回) ○研究推進校による食育研究(4校, H29-30) ○栄養教諭等研修会の開催(2回), 食に関する指導研修会の実施(3回)	
当初予算額	350千円	決算額 290千円
構成事業2「学校と家庭との連携強化事業」		
H30事業計画	H30事業成果	
○食育ミニフォーラムの開催(10月・11月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催	○食育ミニフォーラムの開催(10月・11月) ○親子料理教室の実施, 給食・学校だよりの発行, 保護者対象の懇談会の開催(各学校)	
当初予算額	32千円	決算額 21千円
構成事業3「スクールランチ運営事業」		
H30事業計画	H30事業成果	
○食育指導者派遣 ○試食会の開催 ○リクエスト及び募集献立の実施 ○スクールランチ運営委員会・食育推進部会	○食育指導者の派遣(17校, 延べ42回) ○試食会の開催(22回) ○リクエスト及び募集献立の実施, スクールランチ運営委員会, 食育推進部会の開催	
当初予算額	872千円	決算額 487千円
構成事業4「学校給食の充実事業」		
H30事業計画	H30事業成果	
○地産地消の推進 ○完全米飯給食の実施	○地産地消の推進(市内産使用率: 15.6%) ○完全米飯給食の実施(週4.5回以上)	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業5「家庭教育振興事業(おはよう朝ごはん料理講習会)」		
H30事業計画	H30事業成果	
○朝ごはん料理講習会の実施	○朝ごはん料理講習会の実施(33か所, 参加者919名)	
当初予算額	448千円	決算額 374千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,365 千円	H27	1,606 千円
H28	2,228 千円	H28	1,111 千円
H29	2,287 千円	H29	1,504 千円
H30	1,702 千円	H30	1,172 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	8,582 千円	合 計	5,393 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○「食に関する指導」推進事業については、食育指導者を派遣し、栄養士が配置されていないスクールランチ実施校において、中学生の年代に合わせた食育を行うことができた。研究推進校の指定については、29年度に小中4校を指定し、2か年目となる今年度は調理実習や弁当の日のほか、体験型の活動を取り入れながら食育効果をあげる研究に取り組んだ。

○学校と家庭との連携・協力事業については、各学校で給食だよりや学校だより等による食育啓発のたよりの発行を行っており、保護者対象の懇談会や給食試食会を開催するなど家庭との連携を図った。食育ミニフォーラムは10月に亀田西中学校で、11月に濁川中学校でそれぞれ開催し、保護者や地域の方々を交えて食の大切さについて学ぶことができた。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践した。市内産の給食食材の使用率向上について農林水産部や各区役所と連携し地場産給食事業を各学校や給食センターで行ったほか、市場と連携し市内産青果物の斡旋を各学校や給食センターに対し行った。また、標準献立には毎月2回(7月から12月は月3回)「地場産推奨献立」を取り入れ、地場産使用率の向上に取り組んだ。

○中学校スクールランチ運営事業については、利用率向上を図るため保健給食課職員が学校を訪問し、給食の時間に校内放送でスクールランチのPRを行った。その他、保護者対象のスクールランチ試食会を実施し、栄養バランスの整った給食を食べることにより、適切な中学生の栄養摂取について理解を深めてもらうことができた。食育推進部会では残食を減らす取組や、学校における食育活動の実践について情報交換を行い、今後の運営改善に役立てることができた。

○家庭における食事、睡眠などの基本的な生活習慣や生活リズムの向上を図るため、家庭や地域と連携・協力して、おはよう朝ごはん料理講習会を実施した。

●31年度の取組

○「食に関する指導」推進事業については、栄養士が配置されていないスクールランチ実施校に、学校の要請に応じて食育指導者を派遣し、食育の推進を図っていく。また、研究指定校については、昨年度から引き続き小中4校において取組を行い、給食主任研修会や市学校給食会の理事幹事会においてその成果を発表し、各校の食育の取組に役立ててもらおうこととする。

○学校と家庭との連携強化事業については、食育ミニフォーラムを光晴中学校及び黒埼中学校で開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育を進めていくほか、給食だよりや学校だよりの発行等を通じて家庭への食育啓発を行っていく。

○スクールランチ運営事業については、生徒に食に対する関心をもってもらうため「リクエスト献立」を実施したり、生徒が考えた献立を給食にする「募集献立」を実施したりすることで、スクールランチへの理解と利用促進を図る。また、スクールランチ運営委員会や食育推進部会を開催し、スクールランチ事業のさらなる改善を図っていく。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践する。また、市内産の給食食材の使用率向上については、地場産食材を多く取り入れた「地場産推奨献立」を実施するほか、農林水産部と連携しながら地産地消の推進を図る。

○規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さを啓発していくため、地域団体等と連携しながら「おはよう朝ごはん料理講習会」を地域や諸団体と協働しながら、実施していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

331.0%

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	継続支援終了者(延べ人数)→H30～継続支援終了者の割合						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22	32	42	20	35	5	
進捗状況	12	36	42	56	64			
指標2	若者支援者養成講座修了者(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		101	101	191	231	231	4	118.8%
進捗状況	71	131	191	191	227			
指標3	中央育成活動回数(回)→H29～中央育成活動及び地域との合同育成活動回数(回)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		184	368	612	828	1,044	5	127.7%
進捗状況	171	275	515	759	969			
指標4	わたしの主張大会参加校(校数)→H29～わたしの主張大会参加団体数(団体)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	21	20	21	23	5	120.0%
進捗状況	17	18	17	20	24			
指標5	子ども向け体験活動事業参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	3	95.5%
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670	18,782			
指標6	青少年の居場所設置か所数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	19	19	19	19	4	100.0%
進捗状況	19	18	19	19	19			
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 若者支援事業	
H30事業計画	H30事業成果
○若者支援センター事業 ・相談事業 ・若者の社会参加及び自立支援事業 ・居場所の運営 ○若者支援者養成講座	○相談事業は新規受付数88件、面談のべ件数642件。継続支援終了者の割合は前年度から45%の増 ○若者支援者養成講座修了者延べ227人、第6期ユースアドバイザーとして26名を委嘱
当初予算額 5,944 千円	決算額 5,911 千円
構成事業2 非行防止対策事業	
H30事業計画	H30事業成果
○街頭育成活動 ○社会環境浄化活動 ○非行・被害防止キャンペーン	○青少年育成員による声掛けなどの巡回を210回実施 ○青少年を取り巻く社会環境の実態調査を関係団体等171名の協力を得て実施 ○街頭で関係団体等203名による万引防止の啓発を実施
当初予算額 3,662 千円	決算額 3,172 千円
構成事業3 青少年健全育成事業	
H30事業計画	H30事業成果
○青少年関係団体の育成及び活動への支援 ○わたしの主張大会開催	○青少年健全育成講演会を若者支援養成講座の公開講座として開催(参加者87名) ○わたしの主張大会開催(市内18中学校・6育成協から1689編の応募)
当初予算額 2,978 千円	決算額 2,968 千円
構成事業4 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○土日や長期休業期間に家庭や学校ではできない集団活動や多様な体験活動事業の実施	○自然体験や工作、文化活動などの様々な体験講座を開催
当初予算額 2,320 千円	決算額 1,693 千円
構成事業5 青少年の居場所づくり事業	
H30事業計画	H30事業成果
○公民館の講座室またはスペースを「子どもの居場所」として開放 ○長期休業中などの学習室の開放	○青少年の居場所19館で実施やミニイベントの開催 ○長期休業中などで学習室の開放
当初予算額 194 千円	決算額 61 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	21,243 千円	H27	18,826 千円
H28	18,629 千円	H28	16,528 千円
H29	17,318 千円	H29	15,393 千円
H30	15,098 千円	H30	13,805 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	72,288 千円	合 計	64,552 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○ 青少年への相談や自立に向けた事業においては、新潟市若者支援協議会を5月に開催し、関係機関の連携強化を図った。新潟市若者支援センター（オール）の平成30年度末現在での面接相談実績の延べ件数は642件。継続支援終了者（延べ人数）は79人、居場所でのユースアドバイザー（YA）との関わりは4,233回であった。若者の複雑・困難な課題解決、リファー（外へのつなぎ）を行うとともに、居場所ではYAが利用者に寄り添うことで若者の成長や自立につながった。また、高校生活に困難をかかえている生徒への支援を行う「いがた若者自立応援ネット」の運営を確実にを行い、社会的自立・職業的自立を図った。

○ 青少年の健全育成・非行防止について、37名の青少年育成員が、繁華街を中心に210回の街頭育成活動を実施した。また、学警連・各地区育成協との合同育成活動や一般市民を対象とした「一日育成員の日」を実施し、市民への啓発と各地域における見守り活動を充実させた。集約した情報を各地区学警連や中高生徒指導主事連絡会に提供する等、各機関との連携を推進した。青少年育成員に対して、リーダー会議と研修会をそれぞれ3回ずつ実施し、資質の向上及び情報の共有を図った。

○ 7月の非行・被害防止キャンペーンでは、「万引きの防止」「インターネットの正しい利用」の標語・ポスターを募集し、市内小中学生から500点を超える応募があった。7月8日（日）の非行・被害防止街頭キャンペーンには、関係団体の大人・子ども合わせて約200名が参加し、新潟駅や万代シテイ周辺で啓発うちわを配布する等、非行・被害防止に向けた意識を高め、市民に向けた啓発を充実させた。

○ 青少年関係団体の育成及び活動への支援として、わたしの主張新潟市地区大会を開催し、市内24団体（18中学校＋6地区育成協議会）1,689名の応募の中から12名（内1名は当日欠場）の発表を行い、中学生は自分や他者、地域社会をよりよくしていくとする意欲や実践力を高めること、市民は中学生への理解や関心を深め、青少年の健全育成の機運を高めることに寄与した。

○ 7月に実施した社会環境実態調査では、調査員延べ171名が市内全域の店舗・コンビニなどを回り、有害図書類等の調査を行った。この結果を基に、有害環境の把握・改善に努めた。

○ 学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、家庭や学校ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、異年齢や異なる学校の子どもたち同士の交流を図った。また、公民館の空きスペースや講座室を開放して、家庭や学校以外に子ども達の居場所を設置し、安全で安心して過ごせる場所を提供した。

※ 成果指標1について、平成30年度の継続支援終了者数（延べ人数）は79名、継続支援終了者の割合は64%。継続支援終了者の割合でみた方が、実際にその年に終了した状況がよくわかるため、平成30年度より、継続支援終了者の割合（個別支援プログラム支援を受けた者の総数のうち継続支援を終了した者の割合）で成果を測ることとした。

● 31年度の取組

○ 若者支援センター（オール）での相談・居場所・事業の3本柱の充実を図り、支援を行い、困難な状況を有する若者の課題解決、成長及び自立を図る。また、若者支援者養成講座を修了し、居場所にかかわるユースアドバイザーの研修を実施し、若者の自立支援や青少年の健全育成に必要な知識やスキルを身に付けた人材を育成していく。

○ 青少年の健全育成については、新たに第15期青少年育成員34名を委嘱し、繁華街を中心とした街頭育成活動を実施する。さらなる、育成活動の充実や市民への啓発の観点から、各地区育成協との合同育成活動や市民向け体験育成活動を企画・実施する。

○ 非行・被害防止キャンペーンでは、「インターネット利用に係る犯罪被害等の防止」を重点事項とし、青少年育成団体や学校など関係機関が相互に連携して、児童生徒及び市民の意識の高揚を図り、青少年の非行・被害防止のための活動を7～8月に集中的に実施する。

○ わたしの主張新潟市地区大会の開催、年に1度開催する研修会等の活動支援で、青少年の健全育成を進め、関係者の共通理解と健全育成の意欲向上を図る。

○ 社会環境実態調査を実施し、結果を分析・考察して、ホームページなどで公表する。

○ 自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休業期間に自然活動や物づくり、文化活動などの体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。また、年間を通して公民館で子ども達が安全で安心して過ごせる場所を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	103.1%
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101	6,293			

指標2	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	H30評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 伝統文化の体験学習	
H30事業計画	H30事業成果
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	○子ども大風合戦などの地域の伝統行事や伝統文化に触れることのできる機会を提供
当初予算額 1,448 千円	決算額 821 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,725 千円	H27	1,678 千円
H28	1,798 千円	H28	1,266 千円
H29	1,803 千円	H29	1,180 千円
H30	1,448 千円	H30	821 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	6,774 千円	合 計	4,945 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○新潟漆器の絵付けや南区の大凧合戦, 地域の伝統行事など各地域の特色ある伝統文化を体験することにより, 子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承するとともに地域への愛着心を育む機会とした。

● 31年度の取組

○身近な地域や日本の伝統文化を体験する機会を提供することにより, 子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さと郷土への愛着心を育んでもらう機会とする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	75.0	82.0	80.0	75.0	3	94.6%
進捗状況	74.5	73.8	81.1	78.2	74.0			
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.5	56.5	57.0	61.0	60.0	4	97.5%
進捗状況	56.0	54.6	56.7	60.6	59.1			
指標3							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 外国語指導助手(ALT)配置事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○市立全小・中・高・中等教育学校へのALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施	○市立全小・中・高・中等教育学校へALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施 ○小学校, 中学校のTT授業を参観し, 協議会を実施 ○市内中高生を対象としたイングリッシュセミナーの運営	
当初予算額	44,822 千円	決算額 43,238 千円
構成事業2 国際交流推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○受入: 中国ハルビン市 児童10名・引率者4名 韓国ウルサン広域市 児童10名・引率者3名 ○派遣: ロシアハバロフスク市・ピロピジャン市 児童生徒16名・引率者3名	○中国ハルビン市(児童10名, 引率者4名), 韓国ウルサン広域市(児童10名, 引率者3名)から青少年使節団受入 ○ロシアハバロフスク市, ピロピジャン市へ児童生徒16名, 引率者3名を派遣	
当初予算額	2,151 千円	決算額 2,237 千円
構成事業3 外国語教育支援事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○小中高連携をテーマにした公開授業の実施 ○生徒, 教員の英語力向上を目指した外部試験受検補助 ○外国語教育マネジメント研修の実施	○英語指導力向上に向けての研修協力校の公開授業や外国語教育マネジメント研修の実施 ○生徒・教員の英語力向上に向けた外部試験受検補助 ○大学教授等外部専門機関を招聘しての研修会の実施	
当初予算額	1,792 千円	決算額 1,769 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	51,712 千円	H27	72,736 千円
H28	65,240 千円	H28	63,893 千円
H29	49,558 千円	H29	49,011 千円
H30	48,765 千円	H30	47,244 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	215,275 千円	合 計	232,884 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○ロシア派遣が終了し、青少年使節団全員が「満足している」、「国際交流に対する意識が高まった」と回答している。また、使節団の保護者全員が本事業について「満足している」と回答した。

○ALTの全校配置と担当時数の増加により、パフォーマンス評価における研究が深まった。

○ALTが各校で自らの授業を録画したものを、月例ALT研修会においてグループ視聴し、意見交流を図る活動を行うことにより、授業技術の改善を図った。また、新学習指導要領に関する研修も実施し、英語教育の方向性を確認することができた。

○市立中高生イングリッシュセミナーでは、参加人数が大幅に増え、事後評価においても満足度が非常に高かったことから、英語学習に対する動機付けに大きく寄与できた。

○「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」において、小中高各校の研究授業に際し、事前検討からかかわることで、成果と課題を教育委員会と現場で共有することができた。また、その成果と課題を小学校における『新学習指導要領』対応研修と中学校における授業づくり研修会において紹介し、小中連携の視点を指導することができた。

○12月の外国語マネジメント研修において、市立小中高が一堂に会して「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校の実践発表と大学教授の指導を受け、それらを基に議論をすることにより校種間理解を深めることができた。

● 31年度の取組

○中国ハルビン市と韓国ウルサン広域市へ新潟市青少年使節団を派遣する。

○ロシア(ハバロフスク市、ビロビジャン市)から青少年使節団を受入する。市立小中学校で学校訪問や国際子どもフォーラムを開催し、国際交流の輪をさらに広げていく。

○中国、韓国派遣の報告書を年内に市立各校に送付し、国際交流の素晴らしさを周知できるようにする。

○ALTが各校で自らの授業を録画したものを、月例ALT研修会においてグループ視聴し、意見交流を図る活動を行うことにより、授業技術の改善を図る。また、新学習指導要領に関する研修も実施し、生徒の4技能5領域における資質・能力の向上のための指導技術を磨く。

○市立中学生イングリッシュセミナーに加え、万代高等学校イングリッシュセミナーを新規に立ち上げ、英語理数科英語コースの英語力向上を図る。

○「生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業」において、市立中学校区で小中の連携を図るための具体的な方策を明らかにするために、研修協力校を市立中学校区の小中学校に依頼する。その上で、外部専門機関の指導を仰ぎ、新学習指導要領の全面実施に備えていく。また、中等教育学校後期課程において、大学入試等における4技能評価に対応した授業改善を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

○これから本格的に「外国語」が教科として導入されてくるので、小学校の外国語・外国語活動は、もう少し「好き」という子どもが増えてほしい。
⇒目標は80パーセントを指標として掲げているので、結果の74.0という数字はやや低いと思っている。外国語が本格実施となるのを機に数値が上がるよう、各学校の取組が充実するよう支援していく。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.6	66.6	70.0	90.0	70.0	4	92.5%
進捗状況	65.7	60.3	98.0	100.0	92.5			
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	51.0	55.0	55.0	55.0	5	96.4%
進捗状況	50.0	50.0	97.0	98.2	94.7			
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0			
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「タブレット等ICT活用研修(教職員研修)【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修		○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修	
○ICT新規導入校への説明会 ○教材の更新		○ICT機器導入校への説明会 ○教材の更新	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進(再掲)【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○年間2回実施される研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援		○年間2回実施の研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での指導と支援	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○教職員の指導スキルの向上を図る研修会を実施するとともに、教材を更新することを通して、ICT機器を活用した協働型・双方向型の授業を9割以上の教職員が実践した。

○アクティブ・ラーニングについては、研究主任の研修会や学校訪問を通して、各校で重点化を図ることができるように働き掛けてきた。各校において、実態に応じて重点化した研修の取組が推進され、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善に取り組まれていた。

●31年度の取組

○ICT機器導入校を対象とした操作説明会を実施し、引き続き教職員の指導スキルの向上に努める。

○新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科の特質に応じ、学びの過程全体を見渡した単元や題材などの構成や場面に応じた指導方法について、研修会や学校訪問での支援を継続し、アクティブ・ラーニングの質的向上を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		20.0	50.0	80.0	85.0	100.0	5	107.1%
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0	91.0			
指標2	教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1	1	1	1	1	4	100.0%
進捗状況	1	1	1	1	1			
指標3	環境教育事業の実施						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標4	太陽光発電及び蓄電池設備の設置校(累計)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		11	16	19	20	20	4	100.0%
進捗状況	7	12	18	20	20			
指標5	停電時、非常電源としての実地体験(回)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5	5	5	5	5	4	100.0%
進捗状況	-	5	5	5	5			
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業(再掲)【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた助言・指導	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○ESDを教育課程へ位置づけている学校が小学校で96%、中学校82%と確実に増えている。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 環境学習の充実	
H30事業計画	H30事業成果
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を8校において実施 ○児童生徒が緑に親しみふれ合い、自然の大切さや環境の保護に取り組もうとする思いや態度が育っている。
当初予算額 1,200千円	決算額 1,144千円
構成事業3 環境教育事業	
H30事業計画	H30事業成果
○地域住民向け環境教育事業 や子ども向け環境教育事業の実施	○子ども対象の環境事業や地域の清掃活動、自然観察会を実施し自然や環境を学習する機会を提供し、962人が参加
当初予算額 188千円	決算額 151千円
構成事業4 学校施設エコスクール化推進事業	
H30事業計画	H30事業成果
○5校で施設の実地体験実施	○5校で施設の実地体験実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115,821 千円	H27	95,399 千円
H28	126,904 千円	H28	122,407 千円
H29	51,783 千円	H29	47,145 千円
H30	1,388 千円	H30	1,295 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	295,896 千円	合 計	266,246 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○環境教育の一層の推進を図るため、市立小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校3校(南中野山小, 鎧郷小, 早通小)指定校9校(笹山小, 竹尾小, 上所小, 亀田西小, 金津小, 庄瀬小, 笠木小, 山田小, 岩室小)が事業推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(竹尾小, 岩室小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、環境問題を自分たちの問題としてとらえ、子どもたちの意識が高まった。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の案内・募集を行い、8校(豊栄南小, 南中野山小, 関屋小, 有明台小, 曾野木小, 早通小, 西内野小, 赤塚中)が事業を推進している。その結果、対象校の敷地内緑化が進み、子どもたちが自然とかかわり合う体験をおして学ぶことができるようになってきた。

○クリーン作戦などの環境美化事業の開催や地域の自然・環境を考える講座を開催することで、身近な自然や環境を理解し、考える機会とした。

○太陽光発電及び蓄電池設備が設置されている施設での関係者の実地体験研修を実施し、設置設備の有効活用及び学習活動への活用を啓発した。(実施校:光晴中, 藤見中, 金津小, 新津第一中, 小須戸中)

● 31年度の取組

○さらに学校訪問等を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を働き掛けていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校からの報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○地域住民や子どもを対象とした環境や自然を考える事業を実施するとともに、地域全体での環境美化事業を開催し、身近な環境や自然を考える機会を提供する。

○太陽光発電及び蓄電池設備の設置済み校において引き続き実地体験研修を実施し、学習活動への活用の啓発及び避難所運営時の活用について周知していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	5	107.5%
進捗状況	85.0	81.8	82.1	85.0	91.4			

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 <small>日本語指導協力者派遣事業 外国人児童生徒への支援体制の整備【新規】</small>			
H30事業計画		H30事業成果	
○日本語指導協力者の派遣	○日本語指導協力員を、延べ517回派遣	○母語が分かる支援者の派遣	○母語が分かる支援員を、延べ45回派遣
○協力者連絡会, 研修会の実施	○日本語指導協力者連絡会1回, 研修会を1回実施		
当初予算額	2,114 千円	決算額	2,108 千円

構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,429 千円	H27	2,042 千円
H28	2,142 千円	H28	2,095 千円
H29	2,142 千円	H29	2,107 千円
H30	2,114 千円	H30	2,108 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	7,827 千円	合 計	8,352 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○市立各校から要請のあった児童生徒32名(24校1園)に対して、延べ29名の日本語指導協力者を派遣した。派遣回数は、児童生徒の日本語能力の実態及び、予算から算出できる派遣可能な回数内で調整している。母語が分かる協力員の派遣も継続して行った。

○日本語指導協力員の継続的な派遣により、日本語の上達だけでなく、対象児童生徒が学校生活にスムーズに適応でき、生活全般の落ち着きにつながっているという事例の報告があった。

○帰国・外国人児童生徒の増加が見込まれることから、関係課と情報共有を行い、今後も連携していくことを確認した。

●31年度の取組

○今後も日本語指導協力者の派遣が円滑に行われるよう事業を実施する。

○日本語指導の新規要請には、速やかに対応する。

○加配教諭の効果的な活用も含め、事業が円滑に推進されるよう、体制整備に努める。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	4	83.5%
進捗状況	1,500	1,616	1,585	1,749	1,460			

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 インクルーシブ教育システム構築の推進事業【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○管理職研修, 合理的配慮セミナーを3講座開催 ○特別支援学級の新設 ○必要に応じて特別支援教育支援員及び学校看護師を配置	○管理職研修1回, 合理的配慮セミナー3回の開催 ○特別支援学級25学級新增設 ○学校看護師の配置, 基準に応じた特別支援教育支援委員の配置, 児童生徒の実態に応じた加配支援員の配置
当初予算額 497,199 千円	決算額 469,965 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	324,598 千円	H27	456,801 千円
H28	377,487 千円	H28	425,797 千円
H29	405,454 千円	H29	462,193 千円
H30	497,199 千円	H30	469,965 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,604,738 千円	合 計	1,814,756 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○特別支援教育管理職研修を1回実施。合理的配慮セミナーは3回実施した。全校体制で支援ニーズのある子どもへの「合理的配慮」のあり方について研修を行うことができた。

○明鏡高等学校の通級指導教室を開始した。

○支援を配置基準に従って配置。学校看護師は、対象の児童5名に対して学校看護師を配置。支援ニーズに応じた人的な支援を充実することができた。

● 31年度の取組

○特別支援教育管理職研修、合理的配慮セミナーを3回実施する。市の特別支援教育に関する課題を受けて、対象は管理職、教務主任・特別支援コーディネーターとして、実務的で、より円滑な学習活動が行えるような研修会を実施する。園研修を通して、障がいのある子どもへの「合理的配慮」についての支援が充実するようにする。

○明鏡高等学校の通級指導教室の運営について、評価を行い、より生徒への支援が充実するように努める。

○人的支援について、必要に応じて配置状況などを確認し、人的な支援が一層充実するようにする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	合理的配慮のデータベース件数(累計)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	60	75	90	100	5	122.0%
進捗状況	40	49	63	82	100			
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 特別支援教育サポートネットワーク事業	
H30事業計画	H30事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育ボランティアの募集と配置 ○大学教員を講師とした公開講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○サポートセンターによる465件の学校支援 ○合理的配慮の実態把握調査を実施し、合理的配慮データベースに18件の追加 ○特別支援教育ボランティア登録者数の総計が162名になる。
当初予算額 635 千円	決算額 572 千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	8,320 千円	H27	10,578 千円
H28	1,120 千円	H28	1,105 千円
H29	980 千円	H29	982 千円
H30	635 千円	H30	572 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	11,055 千円	合 計	13,237 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○サポートセンターによる学校支援の件数は465件。サポートネットワークが機能していて、学校が専門家の指導助言が受けられる状態にある。

○特別支援教育ボランティアの登録は、新規登録者6名。162名の登録になった。ボランティアの活用状況は延べ287日。児童生徒の支援の充実の素地が整ってきている。

○合理的配慮のデータベースについては、今年度18の項目を増やした。弱視斜視への配慮やICTの活用についての配慮等の配慮データを得ることができた。

● 31年度の取組

○サポートセンターによる学校支援の件数は、今後継続ケースもあるので、引き続きサポートネットワークを機能させて学校の支援に当たり、児童生徒に「合理的配慮」が提供できるように努める。

○特別支援教育ボランティアの登録については、引き続き呼び掛けを行い、児童生徒の支援に備える環境整備を行う。学校からのボランティアの要請に対して、登録の結果を生かして、登録者と学校双方にとって有意義になるような仲介役を果たす。

○合理的配慮のデータベースについては、データの蓄積を充実させ、要請訪問、研修会の際に紹介できるような準備を整える。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	350	310	350	400	5	123.2%
進捗状況	280	331	315	362	446			
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 早期からの就学支援の推進【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○年間を通じた保護者相談の実施 ○幼稚園・保育園等と連携した「入学支援ファイル」の作成とスムーズな就学支援の実施		○区毎の担当指導主事等が年間を通じた相談, 就学相談会(全8区のべ664名参加)を実施 ○園等と小学校の情報共有と就学支援のための「入学支援ファイル」の作成・活用(小学校提出数446名)	
当初予算額	396 千円	決算額	298 千円
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額		千円	決算額
千円		千円	
構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額		千円	決算額
千円		千円	
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額		千円	決算額
千円		千円	
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額		千円	決算額
千円		千円	
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額		千円	決算額
千円		千円	
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額		千円	決算額
千円		千円	

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	396 千円	H30	298 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	396 千円	合 計	298 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○各区の教育支援センターの就学支援教育担当指導主事が、就学相談の窓口となり、日常的に来所相談や電話での相談に対応した。また、随時幼稚園・保育園を訪問し、就学児の様子について情報を共有できるよう連携に努めた。

○今年度は初めての試みとして年3回の就学相談会を実施した。就学予定児保護者を対象にした「春季就学相談会」を各区ごとに5月に実施し、267名の参加があった。また、児童発達支援センター「こころん」と連携し、就学児の情報提供に努めた。「夏季就学相談会」は、区ごとに7月下旬から8月上旬に、「秋季相談会」は区ごとに11月に実施し、163名の参加があった。多くの面談機会を設けることで、時間をかけて保護者と就学について考えることができた。

○就学前の保護者・幼児教育・保育・療育・相談機関からの願いと支援情報を学校に引き継ぐための連携ツールである「入学支援ファイル」を相談に来られた保護者に説明し、配付した。

○「入学支援ファイル」活用状況調査において、新入生の「入学支援ファイル」の提出数は446人であり、全新生の6.9%が提出している。提出数及び提出率ともに年々増加した。特別支援学級在籍者の提出率は91%と、こちらも年々増加している。年度初めに市内全小学校に「入学支援ファイル」の目的や活用について説明し、連携を促した。

●31年度の取組

○保育園や幼稚園の会議、研修において、積極的に向き、園長やコーディネーターに対し、就学児の情報提供や就学システム、「入学支援ファイル」の目的や活用方法について説明し、さらなる幼保小の連携に努める。

○昨年度に引き続き、年3回の就学相談会を実施し、情報提供と就学相談により、保護者の意向を確認しながら、就学予定児の学びの場を決定していく。

○入学支援ファイルの活用方法や管理について、小学校への周知徹底を図る。

○各区の教育支援センター就学支援教育担当指導主事が、相談会参加保護者に対し、必要に応じて、継続的に就学相談を行っていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市一貫教育推進協議会(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		発足	3	2	2	2	4	100.0%
進捗状況	-	発足	3	2	2	2		
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	4	8	24	40	5	325.0%
進捗状況	-	-	4	8	26	26		
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	55	56	56	56	56		
指標4							H30評価	
0	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況	-							
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 小中一貫教育パイロット事業【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○小中一貫教育普及のための資料作成 ○接続カリキュラムの検討及び周知のための取組	○一貫教育推進協議会を2回実施 ○小中一貫教育部会, 幼・保・小連携部会を各3回実施 ○ホームページを公開 ○私立こども園, 市立保育園にて公開保育を2回実施	
当初予算額	301 千円	決算額
構成事業2 学校間連携推進事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進	○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進	
当初予算額	0 千円	決算額
構成事業3		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	114 千円	H27	128 千円
H28	261 千円	H28	187 千円
H29	237 千円	H29	223 千円
H30	301 千円	H30	198 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	913 千円	合 計	736 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○小中一貫教育部会では、「新潟市にふさわしい小中一貫した教育の基本的な考え方」や「Q&A」等、事業に関する共通理解を促すための資料を作成するとともに、資料を基に、各パイロット中学校区の取組を見直すことができた。また、ホームページを作成し、パイロット中学校区以外の学校で一貫した教育を進める際の参考になるようにした。

○幼保小連携部会では、新潟市版アプローチカリキュラムを完成させ、カリキュラム自園化の方法について明確にした。また、公開保育を通じて自園化の具体を示すことができた。

○市立小中学校において、学習の仕方に関する情報交換が進み、「学習課題とまとめ」「振り返り」のある授業が浸透している。中学校が小学校の家庭学習の取組を参考にして同様の取組をするなど、小中のつながりを意識した取組が見られるようになった。

● 31年度の取組

○パイロット中学校区の実践を基に、取組の手引きとなる資料を作成し、新潟市にふさわしい小中一貫した教育の推進を図る。

○新潟市版スタートカリキュラムを完成させ、リーフレットを通じてアプローチカリキュラムと共に周知を図る。

○公立私立の幼児教育・保育施設を対象とした研修会を実施し、新潟市版アプローチカリキュラムの周知を図る。

○学校訪問時に小中一貫した取組の事例について紹介するなどして、「9年間を見通した学び」を推進する。

● 推進委員からの意見・要望等

○「中学校が小学校の家庭学習の取組を参考にして同様の取組をするなど」という記載があるが、具体的にどのようなものなのか。
⇒小学校で、毎日「帰りの会」の前に、家に帰ったらどんな勉強をするのかを家庭学習ノートに記入し、その計画に沿って家庭学習をするという取組である。家庭学習ノートには、その日の授業で記録したノートを見てもう一度家で勉強し直したり、自分なりに調べた内容を書いたり、素晴らしい取組がされている。この取組を当該中学校区で情報共有し、このような家庭学習をしてきた習慣を活かし、中学校でも継続しているという例である。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	95.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	-	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	40.0	70.0	70.0	70.0	5	113.9%
進捗状況	-	30.0	72.0	72.0	82.0	70.0		
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		27.3	90.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	-	81.2	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		18.1	63.6	90.0	90.0	90.9	4	100.0%
進捗状況	-	54.5	90.0	90.0	90.0	90.0		
指標5							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 幼保小連携推進事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○幼保小連携の推進を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校との円滑な接続を見通した教育課程の検討・編成		○幼・保の連携の充実と小学校への円滑な接続を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校の接続を見通した教育課程・指導計画の作成	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業2 幼保小合同研修会【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会の後援		○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会への指導・助言	
当初予算額	60千円	決算額	60千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	42 千円	H27	72 千円
H28	87 千円	H28	81 千円
H29	81 千円	H29	81 千円
H30	60 千円	H30	60 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	270 千円	合 計	294 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会が相互に案内され、参加することにより、幼保等の連携が図られた。

○市立幼稚園教育研究協議会や市立幼稚園教頭・主任会の研修会において、アプローチ・カリキュラム作成及び幼保連携について指導・助言したことにより、幼小連携、幼保連携が図られた。

●31年度の取組

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会を相互に案内し合い、互いに参加することにより幼・保等の連携を図る。

○幼保小合同研修会として、10月に合理的配慮セミナー、11月に市立市之瀬幼稚園を会場とした研修を実施し、幼保小連携の更なる推進を図る。

○保育園・幼稚園・こども園と小学校で、入学に当たっての情報交換を進める。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.2

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	外部講師による人権教育、同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校:累計)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85	110	135	160	185	5	110.0%
進捗状況	61	135	213	271	298			
指標2	小学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	96.0	98.2	100.0	100.0	100.0			
指標3	中学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	4	103.7%
進捗状況	85.0	84.2	100.0	96.4	100.0			
指標4	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	4	85.1%
進捗状況	3,341	3,148	3,331	3,791	3,225			
指標5	人権教育研修会の参加者満足度(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	4	89.7%
進捗状況	71.5	95.0	93.0	97.0	87.0			
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 人権教育、同和教育の推進			
H30事業計画		H30事業成果	
○人権教育、同和教育に関する研修会、外部講師派遣事業による支援の実施		○外部講師派遣事業による校内研修会を27校、学校支援課指導主事によるものを60校、新発田隣保館現地学習によるものを10校・園実施	
当初予算額	76千円	決算額	120千円
構成事業2 男女平等教育の推進			
H30事業計画		H30事業成果	
○男女平等教育推進協議会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料をデータで配信		○男女平等教育推進協議会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料を作成し、各校にデータで配信	
当初予算額	20千円	決算額	29千円
構成事業3 公民館の人権教育			
H30事業計画		H30事業成果	
○女性セミナーや障がい者理解などの人権に関する講座や家庭教育学級における人権講座の開催		○女性セミナー ○人権に関する講座 ○国際理解講座	
当初予算額	773千円	決算額	848千円
構成事業4 新潟市人権教育研修会			
H30事業計画		H30事業成果	
○人権教育研修会の開催(1回)		○人権教育研修会の開催(1回)	
当初予算額	27千円	決算額	13千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,945 千円	H27	1,344 千円
H28	1,055 千円	H28	863 千円
H29	867 千円	H29	937 千円
H30	896 千円	H30	1,010 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,763 千円	合 計	4,154 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

- 人権教育, 同和教育校内研修会外部講師派遣事業は, 8校分予算(講師謝金負担)のうち8校で事業を実施し, 研修の充実が図られた。
- 人権教育, 同和教育中学校区要請研修会を20中学校区で実施し, 研修の充実が図られた。
- 学校支援課からの新発田隣保館での人権教育, 同和教育研修の案内により, 10校が校内研修として現地学習を行い, 差別の現実から深く学び, 部落差別・同和問題についての理解と認識が深まった。
- 各校・園管理職対象の悉皆研修を, 7月3日の新潟市人権教育研修会(生涯学習センター主催)と7月31日の新潟県同和教育研究集会佐渡市大会(新潟県同和教育研究協議会主催, 参加対象奇数学番校)で実施し, 管理職等の人権問題や同和問題についての理解と認識が深まった。
- 男女平等教育学習資料をデータで配付した。データをCDに入れ, 市立の小中学校, 中等教育学校, 特別支援学校に配付し, 活用を促した。
- 男女平等教育推進研究会を7月と1月に実施した。委員としてそれぞれ12名, 11名が参加した。男性, 女性の割合は半分ずつである。男女平等教育学習資料の活用の様子と来年度の資料改訂に向けた話し合いを行った。改訂の方向が決まった。
- 男女共同参画やワークライフバランスについて考える女性セミナーや障がい者の理解など人権を考える講座や講演会を実施するなど, 人権意識の啓発を図った。
- 人権教育研修会(新発田市同和教育推進協議会 会長 駒澤 一彦氏による講演「部落差別・部落問題に本気で取り組むために」)を開催した。研修会では同和問題を身近な問題として捉え, 理解と認識を深めるとともに, 人権教育・同和教育の大切さを感じる機会になった。

● 31年度の取組

- 人権教育, 同和教育校内研修会外部講師派遣事業を実施し, 研修の充実を図っていく。
- 人権教育, 同和教育担当者研修会を実施し, 各校での推進を図れるようにしていく。
- 男女平等教育学習資料の見直しを行い, 資料を改訂する。活用率100%を維持するとともに, 保護者への啓発を意識付ける。
- 女性や子ども, 障がい者等の人権について考える講座や講演会を実施するなど, 市民の人権意識が高まるように啓発を進める。また, 家庭教育学級など開催する中で, 人権について考える時間を設けて意識啓発に努める。
- 引き続き, 市職員や学校職員を対象に人権教育や同和教育への理解と認識を深めるための研修会を開催し, 人権意識の高い職員の資質向上を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	世代間交流事業の参加者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	3	89.9%
進捗状況	22,459	23,654	23,360	22,525	20,248			
指標2							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地区別世代間交流事業	
H30事業計画	H30事業成果
○地域で実施しているイベントやスポーツ大会を通じて, 世代間交流を進める支援	○各地域で運動会などの各種スポーツ大会, 地域の祭りなどのイベントを通じて, 地域の世代間交流を促した。
当初予算額 1,503 千円	決算額 1,324 千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	861 千円	H27	1,049 千円
H28	1,007 千円	H28	1,500 千円
H29	1,442 千円	H29	1,655 千円
H30	1,503 千円	H30	1,324 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,813 千円	合 計	5,528 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○地域団体と連携した様々な地域イベント、スポーツ大会や子どもから高齢者まで参加できる体験教室などを開催することで、世代間交流を促した。

● 31年度の取組

○各地域でのイベントやスポーツ大会や様々な体験教室などを通じて、世代間交流を促し地域住民同士の交流促進を支援していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	5	103.0%
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4	97.2			
指標2	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	4	76.4%
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8	28.1			
指標3	家庭教育学級数(講座)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69	3	98.5%
進捗状況	63	68	68	66	65			
指標4							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 家庭教育振興事業	
H30事業計画	H30事業成果
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(市立小・中学校)	○出産前から思春期・孫育てなどの家庭教育学級65講座を実施 ○子育て学習出前講座の実施(小103校, 中16校) ○朝ごはん料理講習会の実施(33回, 参加者919名)
当初予算額	10,660 千円
決算額	10,036 千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,100 千円	H27	11,558 千円
H28	11,399 千円	H28	10,827 千円
H29	12,063 千円	H29	11,393 千円
H30	10,660 千円	H30	10,036 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	46,222 千円	合 計	43,814 千円

注: 再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○ 出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長期に合わせた家庭教育学級や父親学級を実施することにより、子育ての知識や情報、親としての関わり方などを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。また、家庭教育学級の中に土日の開催も取り入れることで、平日に参加できない保護者へ学習の機会を提供したり、パートナーと一緒に参加してもらい、夫婦で子育ての意識を共有することができた。

○ 市立小中学校と連携して、就学時健診や新入学学校説明会など保護者が集まる機会に、家庭教育の大切さやインターネット・SNSの利用についての講演を行う「子育て学習出前講座」の実施を呼びかけ、119校で実施した。

○ 子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るため、おはよう朝ごはん料理講習会を34のコミュニティ協議会等の地域団体と協働で実施した。

● 31年度の取組

○ 引き続き、子どもの成長期に合わせた家庭教育学級を開催し、子どもの発達や接し方、親としての在り方を学ぶとともに、保護者同士の交流を図る。また、夫婦で参加してもらい子育ての意識を共有できるような機会を提供していく。休日や夜間に家庭教育学級を開催することで、ひとり親家庭など様々な生活環境にある保護者も参加しやすいように、開催曜日や時間を考慮して講座を開催していく。

○ 市立小・中学校と連携して、就学時健診や新入学学校説明会などが開催される機会に、子育て学習出前講座を開催し、家庭教育の意識啓発を図る。

○ 規則正しい生活リズムや朝ごはんの大切さや規則正しい生活リズムの重要性を啓発していくため、早寝早起き朝ごはん推進事業に関連した事業を、地域や諸団体と連携しながら、実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 子育てフリースペースの開設(か所数)							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		13	14	14	15	15	5	100.0%
進捗状況	15	16	18	18	18	18		
指標2 保育者研修会の出席率(%)							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	5	114.2%
進捗状況	90.0	92.8	92.6	83.0	94.8	94.8		
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援事業	
H30事業計画	H30事業成果
○子育て支援事業(講演会, 親子遊びなど) ○子育てフリースペースの開設 ○保育者研修会の実施	○子育てフリースペースの開設 ○子育て支援事業(講演会, 親子遊びなど) ○全保育者を対象とした研修会
当初予算額	1,174 千円
決算額	1,135 千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	873 千円	H27	934 千円
H28	846 千円	H28	759 千円
H29	1,059 千円	H29	1,121 千円
H30	1,174 千円	H30	1,135 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,952 千円	合 計	3,949 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の上半期の取組に対する評価

○子育てフリースペースを開設して、子育て中の保護者同士の交流の場を提供し、絵本の読み聞かせや親子遊びを実施することで、子育て中の保護者の支援を行い、子どもの社会性を学ぶ機会とした。また、家庭教育学級の保育事業を担う登録保育者の研修会を実施し、保育や子育て支援について学ぶとともに保育者同士の情報交換の場となった。

●31年度の下半期の取組に向けて

○子育て中の保護者を対象に、フリースペースを開設し、親子遊びなどの様々な子育て支援に関するイベントを実施する。また、保育者研修会を実施し、家庭教育学級等で学習を支える保育者の資質向上を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
2.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 生涯学習相談件数(件)							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340	2	80.1%
進捗状況	297	296	307	326	261			

指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業	
H30事業計画	H30事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者 107名 ○生涯学習ボランティアスキルアップ講座 参加者 110名 ○パソコン初心者向け講習会	○生涯学習の収集・提供及び学習相談件数 261件 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者 107名 ○生涯学習ボランティアスキルアップ講座 参加者 110名 ○パソコン初心者向け講習会
当初予算額 203 千円	決算額 189 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115 千円	H27	104 千円
H28	100 千円	H28	101 千円
H29	269 千円	H29	288 千円
H30	203 千円	H30	189 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	687 千円	合 計	682 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行った。

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学びの成果を地域活動や教育活動に生かすため、ボランティアバンクの登録・更新及び派遣を行った。また、ボランティアバンクへの登録及び活用の拡充を図るため、関係課と連携し、ボランティアバンクのPRを行った。

◎市民の学習相談に応じるため、生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供及び学習相談・出前学習相談を実施した。

◎生涯学習相談やボランティアについて理解を深めてもらうため、生涯学習相談ボランティアの研修会を実施し、新たにボランティアが加わった。

◎パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施し、市民の主体的な学習活動を支援した。

◎ボランティア同士の交流・情報交換や活動するうえでの課題を解決するため、スキルアップ講座を実施した。

●31年度の取組

◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、引き続き「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行う。

◎生涯学習ボランティアバンクの周知をホームページやフェイスブック等を通じて行うほか、登録者による自主企画講座を実施し、活躍の場を創出する。また関係課と連携し、ボランティアの登録と活用の拡充を図る。

◎生涯学習相談の現状と課題を把握し、ボランティアと意見交換しながら、市民の学習相談体制の充実を図る。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施し、市民の生涯学習活動につなげる。

◎市民が学びを通して新たなつながりを広め、学びの成果を地域活動や教育活動に生かすために、生涯学習ボランティア入門講座やスキルアップ講座を実施する。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	100.0%
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0	92.0			
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施			
指標4	児童書の貸出冊数(冊)(12歳以下の子ども1人あたり)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.2	12.4	13.2	13.1	13.2	4	101.5%
進捗状況	12.1	13.1	13.1	13.0	13.2			
指標5	レファレンス受付件数(件)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72,000	72,800	90,000	99,000	94,000	3	95.4%
進捗状況	69,600	83,157	94,580	98,077	93,559			
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1にいがた市民大学開設事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○基本講座 4講座	○大学コンソーシアム連携講座 1講座	○基本講座 4講座	○大学コンソーシアム連携講座 1講座
当初予算額	5,380 千円	決算額	4,867 千円
構成事業2現代的課題を学ぶ公民館事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○青年対象事業, 環境に関する事業, 高齢者問題に関する事業, その他市民ニーズのある事業の実施		○若者対象事業や高齢者の生きがいがつくり, 健康づくり事業の開催	
当初予算額	2,005 千円	決算額	2,384 千円
構成事業3学習成果を発表する場の提供			
H30事業計画		H30事業成果	
○文化祭や芸能祭などの開催		○文化祭や芸能祭を開催し, サークル活動等の日頃の学習成果を発表する場を提供	
当初予算額	2,446 千円	決算額	2,454 千円
構成事業4子どもの読書環境の整備			
H30事業計画		H30事業成果	
○ブックスタート事業	○乳幼児連れでも気兼ねなく図書館を利用できる「赤ちゃんタイム」の実施	○ブックスタートを5,572人に実施	○赤ちゃんタイムを全図書館(19館)で実施
当初予算額	3,356 千円	決算額	3,308 千円
構成事業5子どもが読書に親しむ機会の充実			
H30事業計画		H30事業成果	
○子ども・親子を対象とした各種事業	○「うちどく(家読)」の作成	○「うちどく(家読)」のために, 「子ども司書講座」を実施し10名が参加	○「うちどく(家読)」の作成
○「うちどくブックリスト」の作成	○「うちどく(家読)推進のための各種事業	○「うちどくブックリスト 高校生向け」を作成し各図書館で配布	
当初予算額	490 千円	決算額	349 千円
構成事業6仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○ビジネス支援セミナー	○起業・経営相談会	○ビジネス支援セミナーと起業・経営相談会を, 新潟市産業振興財産との共催で9月より開催	○ビジネス融資相談会を開催
○起業・経営相談会	○ビジネス融資相談会	○くらしの情報講座を2回開催	○行政書士無料相談会を開催
○くらしの情報講座	○行政書士無料相談会		
当初予算額	1,134 千円	決算額	1,264 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	18,819 千円	H27	16,964 千円
H28	21,859 千円	H28	16,197 千円
H29	16,810 千円	H29	15,653 千円
H30	13,677 千円	H30	13,362 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	71,165 千円	合 計	62,176 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○にいがた市民大学では、前期講座は講義形式による大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込んだりする等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設した。また、新潟港開港150周年に関連した後期ゼミナール1講座と150周年推進課とのパートナーシップ事業として短期回数特別講座1講座を開設した。後期ゼミナール終了後には、自主学習グループが1つ結成され、市民の主体的な学習活動につながった。

○高齢者の健康や生きがいづくり、地域社会参加への支援事業など、市民ニーズに沿った学習機会を提供した。また、公民館利用の少ない若者世代を対象とした講座を開催し、若者支援を図るとともに公民館利用を促した。

○公民館利用団体や地域の文化団体と協働し、市民の学習した成果を発表する場として、文化祭や芸能祭など開催した。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施
 ・ブックスタート事業を継続実施し、家庭での読み聞かせの大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションづくりのきっかけとなるよう働きかけた。(ブックスタートは、3月末時点で5,572名に実施)
 ・「赤ちゃんタイム」を全図書館(19館)で実施し、赤ちゃんと来館する方が気軽に利用できる環境の整備を進めた。
 ・「うちどく(家読)」推進のために、中央図書館で「子ども司書講座」を実施した。(10名参加)
 ・高校生が読書に興味を持ってもらえるよう、新たに「うちどくブックリスト 高校生向け」を作成し、図書館で配布するとともに関係部署に送付した。

◎仕事や暮らしの課題解決のための情報提供事業
 ・「暮らしの情報講座」を2回開催した。11月は新潟雇用労働センターと、1月は中央区健康福祉課(新規)と共催して実施した。
 ・2月に新潟市産業振興財団と共催で「ビジネス支援セミナー」を開催した。
 ・市民の課題解決の場として、中央図書館で「起業・経営相談会」を開催した。また、中央・亀田・新津・坂井輪・西川の各図書館で「行政書士無料相談会」を実施した。

● 31年度の取組

○にいがた市民大学では、後期講座で現地学習・討論や製作などを取り入れた少人数のゼミナール形式で2講座を実施する。学んだ成果をレポート集としてまとめ、中央図書館等で周知するとともに、自主的な学びを深めていくために「自主グループ」結成の支援を行う。

○次世代を担う若者を対象に、仲間づくりや異業種交流を目的とした講座を開催し、個々のスキルアップと新しい人との出会いを支援するなど、市民ニーズに沿った学習機会を提供していく。

○公民館利用団体や地区の芸術や美術協会と協働して、文化祭・芸能祭など学習成果の発表の場を提供する。

◎「第二次子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施
 ・ブックスタート事業の関係課と協力し、継続実施する。
 ・「うちどく(家読)」推進のために、「子ども司書講座」受講生を対象とした取組を行う。

◎「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」の策定
 ・「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」の成果と課題を整理し、有識者会議・庁内推進会議で検討、パブリックコメントを実施し、策定を進める。

◎仕事や暮らしの課題解決のための情報提供事業
 ・市民の課題解決のため、「暮らしの情報講座」を開催する。
 ・「行政書士無料相談会」を中央・亀田・新津・坂井輪・西川の各図書館で継続実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53	5	101.6%
進捗状況	41	51	60	63	64			
指標2		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8		H30評価					H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域課題解決への支援	
H30事業計画	H30事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○地域団体と連携し, 地域課題の把握と解決を地域自ら取り組めるよう支援する事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を実施し, 地域活動を担う人材育成と活動支援を行った。
当初予算額	3,900 千円
決算額	3,214 千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,952 千円	H27	3,908 千円
H28	4,758 千円	H28	3,929 千円
H29	5,174 千円	H29	4,470 千円
H30	3,900 千円	H30	3,214 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	18,784 千円	合 計	15,521 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○各地区において、地域団体等と連携して、高齢化や少子化社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるよう支援した。

●31年度の取組

○地域の人材育成や絆づくりを地域団体等と協働で取り組み、自ら地域課題を探り解決に取り組むコミュニティ・コーディネーターを育成する事業を引き続き開催していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

3期進捗平均
4.3

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	2,020	5	119.5%
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664	1,989			
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29~ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	2	88.1%
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43			
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29~土曜プログラム活用校数(校)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	5	141.7%
進捗状況	-	4	4	24	34			
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103	120	5	123.3%
進捗状況	66	72	89	103	127			
指標5							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は、新任校長対象) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会	○本事業にかかる研修会を開催し、学校担当者、地域教育コーディネーター、学社民融合支援主事あわせて延べ1,092名が参加 ○市民へ周知のため、ウェルカム参観日を17校で実施	
当初予算額 138,449 千円	決算額 137,368 千円	
構成事業2 ふれあいスクール事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し、モデル校4校において実践。研修会にて、実践発表 ○プログラムの活用を広報し、実践のために指導、助言を行った。	
当初予算額 31,555 千円	決算額 29,470 千円	
構成事業3 公民館出前型事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○学校の余裕教室などを会場にして、地域住民を対象とした公民館事業の開催	○地域住民対象の公民館事業を学校を会場に実施	
当初予算額 400 千円	決算額 337 千円	
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円	決算額 千円	
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円	決算額 千円	
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円	決算額 千円	

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	189,987 千円	H27	184,359 千円
H28	187,454 千円	H28	190,188 千円
H29	182,387 千円	H29	178,105 千円
H30	170,404 千円	H30	167,175 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	730,232 千円	合 計	719,827 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

◎地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を17校で実施した。また、市報や区だよりでパートナーシップ事業を延べ60回掲載した。

◎ふれあいスクール事業は、平成30年度に小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行うことで共通理解を図ることができた。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者200名(うち放課後児童クラブ支援員44名)、第2回研修会10月実施 参加者194名(うち放課後児童クラブ支援員47名)。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践をした。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者215名)では、モデル校4校の実践を発表することで、自校に取り入れたいという意識を高めることができた。また、土曜プログラム集を活用してもらうため、研修会で紹介したり、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行ったりした。

◎公民館出前型事業は、学校と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会や夏休みを利用して様々な体験講座などを実施した。

● 31年度の取組

◎公民館と連携し、地域に開かれた学校づくり・学校を核とした地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。

◎学社民融合支援主事と図書館職員が参加する事業研修会、研修幹事会、区研修を実施する。

◎地域との連携・協働を進める上での課題(「重点化」と目標共有を通じた「役割分担」、広報活動、コミュニティスクールとの接続)をテーマに、地域と学校パートナーシップ事業研修会を実施する。

◎「地域と学校パートナーシップ事業」の活動を地域のみならず、広く区内や市内に発信するため、「地域と学校ウェルカム参観日」を16校で実施する。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるよう今年度もモデル校4校において土曜プログラムを実施し、研修会で報告することで土曜プログラムを活用してもらえるようにする。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

◎地域の関係団体のネットワークづくり・地域づくりを充実させるため、地域住民向けの公民館の事業を学校を会場に、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して実施していく。

※成果指標1については、平成30年度時点で目標数値を達成したため、平成31年度の指標目標を上方修正した。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16	16	16	4	100.0%
進捗状況	16	16	16	16	16			
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28	17	4	100.0%
進捗状況	8	32	56	28	28			
指標3	にいがた共育通信(発行回数)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	-	-	-		
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標4	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	90.0	90.0	90.0	4	106.1%
進捗状況	-	-	-	88.9	94.3			
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○市立28中学校区で実施	○市立28中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 教育情報発信事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○新潟市HPを用いて, 情報発信を行う。 ○6月～平成31年2月まで, 毎月1回を目途とする。 ○学校教育や社会教育の取組とともに, 教育ビジョンの施策を紹介する。	○新潟市HPを用いて, 情報発信を行った。 ○6月より開始し, 計11回発信することができた。 ○学校教育をはじめ, 社会教育の取組を写真とともに紹介した。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング
 ・区教育ミーティングを各区2回実施した。
 ・区教育ミーティングでは、平成30年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行った。地域と学校との関わりについての成果や課題、教員の多忙化解消問題、登下校の子どもたちの見守りなどについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。
 ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等の把握を行った。

○中学校区教育ミーティング
 ・中学校区教育ミーティングを市立28中学校区で実施した。
 ・中学校区教育ミーティングでは防災教育をテーマとし、学校単位で作成されている防災教育プログラムに沿った取組を紹介するとともに、防災教育について地域と連携した進め方を意見交換した。
 ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等の把握を行った。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を行った。
 【6月 キラキラ新潟っ子応援団 No.1 第49号(平成30年6月13日)】
 ・授業のスペシャリスト ・けん玉名人 ・「初心者そば打ち体験講座」 「映画観賞会」
 【7月 就学相談会(夏季・秋季)のご案内 第50号(平成30年7月3日)】
 【7月 キラキラ新潟っ子応援団 No.2 第51号(平成30年7月17日)】
 ・学校保健のご意見番 ・高校英語 (ICT活用) ・「レクリエーションクラブ しん」
 【8月 キラキラ新潟っ子応援団 No.3 第52号(平成30年8月9日)】
 ・民間人校長 ・中央図書館ボランティアグループ「おはなし日和」
 【9月 子どものこころとからだNo.1 第53号(平成30年9月25日)】
 ・健康診断や保健室利用状況からみる子どもたちの健康
 【10月 子どものこころとからだNo.2 第54号(平成30年10月26日)】
 ・小、中学校における保健教育
 【12月 子どものこころとからだNo.3 第55号(平成30年12月5日)】
 ・「がん教育」の実践内容 ・地元の食材を生かした「イベント給食」
 【12月 生涯学習・社会教育の紹介 第56号(平成30年12月16日)】
 ・生涯学習センターの主な取組
 【1月 平成30年度「教育委員会表彰」 第57号(平成31年1月11日)】
 【1月 公民館ってどんなところ 第58号(平成31年1月28日)】
 ・公民館の主な取組 ・小針青山公民館「第71回優良公民館表彰」受賞
 【2月 暮らしの中に図書館を 第59号(平成31年2月15日)】
 ・新潟市立図書館・学校図書館支援センターの主な取組

●31年度の取組

○区教育ミーティング
 ・区教育ミーティングは、各区2回開催し、区ごとのテーマで意見交換を行う。
 ・区自治協議会への教育情報の発信や地域の実情・課題を把握し、共有した情報を地域活動に生かせるよう取り組む。

○中学校区教育ミーティング
 ・中学校区教育ミーティングは同一テーマで、市立17中学校区で開催する。
 ・3年後に導入されるコミュニティ・スクール制度も見据えながら、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりをさらに進め、子どもに身近な地域で教育に責任をもてる体制を構築していく。
 ※中学校区教育ミーティングの実施回数については、平成30年度までは2年間で全市立中学校区で実践してきたが、平成31年度以降は3年間で全市立中学校区で実施する予定である。そのため、平成31年度指標目標は17中学校区としている。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を継続する。(発信計画案)
 ・「特集」として、3回シリーズで実践紹介をする。
 【①5～7月 校園の特色ある取組 教育委員会事業紹介】
 保健室指導・食育事例、ウェルカム参観日、大好きにいがた体験事業など
 【②9～11月 生涯学習の理念や事業の紹介】
 生涯学習センター、中央公民館、中央図書館の取組など
 【③12～2月 新潟市教育の現状と教職員の育成・支援】
 教育委員会事業の紹介、多忙化解消対策など

・各所属による「イベント紹介」「お知らせ」を掲載する。
 【4月 新潟市就学援助・新潟市奨学金などの紹介】
 【5月 就学相談会】 【6月 指定都市学校保健協議会】
 【7月 教育ビジョン第4期実施計画】
 【9月 わたしの主張新潟市地区大会】
 【10月 北信越地区学校図書館研究大会】
 【11月 いじめ防止フォーラム】
 【12月 笹山小学校閉校記念式典】
 【1月 市民大学25周年特別講座】
 【2月 新通つばさ小学校開校】
 【3月 教育ビジョン第4期実施計画の周知】
 また、保護者に関わりの深い事業について、その都度情報

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	2,020	5	119.5%
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664	1,989			
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	2	88.1%
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43			
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	5	141.7%
進捗状況	-	4	4	24	34			
指標4	放課後の学習支援をする中学校(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56			
指標5	公民館出前型事業の実施校数(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103	120	5	123.3%
進捗状況	66	72	89	103	127			
指標6	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53	5	101.6%
進捗状況	41	51	60	63	64			
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○本事業にかかる3回の研修会の開催(第1・3回研修会は、コーディネーター・地域連携担当職員対象。第2回研修会は、新任校長対象) ○新任コーディネーター研修 ○区研修のための研修幹事会 当初予算額 138,449 千円	○本事業にかかる研修会を開催し、学校担当者、地域教育コーディネーター、学社民融合支援主事、図書館職員等あわせて延べ1,092名が参加 ○市民へ周知のためウェルカム参観日を17校で実施 決算額 137,368 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介 当初予算額 31,555 千円	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し、モデル校4校において実践。研修会にて、実践発表。 ○プログラム集の活用を広報し、実施のための指導、助言を行った。 決算額 29,470 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月11日) ○参加延べ生徒数16,131人 決算額 6,121 千円
構成事業4 公民館出前型事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○学校の余裕教室などを会場にして、地域住民を対象とした公民館事業の開催 当初予算額 400 千円	○地域住民対象の公民館事業を学校を会場に実施 決算額 337 千円
構成事業5 地域コミュニティ活動活性化支援事業	
H30事業計画	H30事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施 当初予算額 3,900 千円	○地域団体と連携し、地域課題の把握と解決を地域自ら取り組めるよう支援する事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を実施し、地域活動を担う人材育成と活動支援を行った。 決算額 3,214 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	200,939 千円	H27	193,363 千円
H28	199,612 千円	H28	200,474 千円
H29	194,961 千円	H29	188,669 千円
H30	180,486 千円	H30	176,510 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	775,998 千円	合 計	759,016 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

◎地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの「学校支援ボランティア」の協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を17校で実施した。また、市報や区だよりでパートナーシップ事業を延べ60回掲載した。

◎ふれあいスクール事業は、平成30年度に小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行うことで共通理解を図ることができた。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者200名 うち放課後児童クラブ支援員44名、第2回研修会10月実施 参加者194名 うち放課後児童クラブ支援員47名。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践をした。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者215名)では、モデル校4校の実践を発表することで、自校に取り入れたいという意識を高めることができた。

また、土曜プログラム集を活用してもらうため、研修会で紹介したり、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行ったりした。

◎5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校があった。10月にアフタースクール学習支援員の研修会を行い、後期の指導に活かした。全体での一斉授業と個別の支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を全中学校で展開している。

◎公民館出前型事業は、学校と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会や夏休みを利用して様々な体験講座などを実施した。

◎各地区において、地域団体等と連携して、高齢化や少子化社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるよう支援した。

●31年度の取組

◎公民館と連携し、地域に開かれた学校づくり・学校を核とした地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。

◎学社民融合支援主事と図書館職員が参加する事業研修会、研修幹事会、区研修を実施する。

◎地域との連携・協働を進める上での課題(「重点化」と目標共有を通じた「役割分担」、広報活動、コミュニティスクールとの接続)をテーマに、地域と学校パートナーシップ事業研修会を実施する。

◎「地域と学校パートナーシップ事業」の活動を地域のみならず、広く区内や市内に発信するため、「地域と学校ウェルカム参観日」を16校で実施する。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるよう今年度もモデル校4校において土曜プログラムを実施し、研修会で報告することで土曜プログラムを活用してもらえるようにする。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

◎全市立中学校に学習支援員を配置するとともに、5月の学習支援員連絡会等を通して新潟市の生徒の状況を踏まえた学習支援が引き続き展開されるように努める。

◎地域の関係団体のネットワークづくり・地域づくりを充実させるため、地域住民向けの公民館の事業を学校を会場に、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して実施していく。

◎地域の人材育成や絆づくりを地域団体等と協働で取り組み、自ら地域課題を探り解決に取り組むコミュニティ・コーディネーターを育成する事業を引き続き開催していく。

※成果指標1については、平成30年度時点で目標数値を達成したため、平成31年度の指標目標を上方修正した。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	3	3	4	4	4	100.0%
進捗状況	1	2	3	4	4			
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	100.0%
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0	92.0			
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		9	9	9	9	9	5	100.0%
進捗状況	9	11	11	10	10			
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 高等教育機関活用推進事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○高等学校通級の適切な運用について指導を継続する。 ○文科省事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用した取組の実施		○文科省事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用した取組の実施	
当初予算額	1,792 千円	決算額	1,769 千円
構成事業2 にいがた市民大学開設事業(再掲)			
H30事業計画		H30事業成果	
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座		○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座	
当初予算額	5,380 千円	決算額	4,867 千円
構成事業3 図書館と教育機関・企業との連携・協力			
H30事業計画		H30事業成果	
○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワークの実施 ○団体貸出 ○新潟市と企業との包括連携協定記念事業への参加(予算は全て別事業)		○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワークの実施(決算はネットワーク費や読書普及事業費を含む) ○団体貸出 ○包括連携協定事業へ参加し図書館サービスのPR実施	
当初予算額	0 千円	決算額	0 千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,514 千円	H27	6,245 千円
H28	6,328 千円	H28	5,945 千円
H29	12,770 千円	H29	11,622 千円
H30	7,172 千円	H30	6,636 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	32,784 千円	合 計	30,448 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○高等学校通級においては、明鏡高等学校での通級指導の周知と充実に取り組んだ。また、市立高等学校職員に、ニーズ調査を行った。

○外部専門機関と連携した英語指導力向上事業においては、外部専門機関を講師として招聘し、小中高の研修協力校のそれぞれの課題を把握した上で、今後どのような研修が必要かについて共通理解を図った。

○にいがた市民大学では、前期講座は講義形式による大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込んだりする等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設した。また、新潟港開港150周年に関連した後期ゼミナール1講座と150周年推進課とのパートナーシップ事業として短期回数特別講座1講座を開設した。後期ゼミナール終了後には、自主学習グループが1つ結成され、市民の主体的な学習活動につなげた。

○新潟大学附属図書館と新潟県立図書館の間で配本ネットワークを実施し、利用者への本の提供を迅速に行うことができた。

○企業や民間団体等への団体貸出を行い、地域の身近な場所へ本を提供することにより読書環境の充実に努めた。

○新潟市とイオンリテール株式会社との包括連携協定の記念イベントに、「おでかけほんぽーと」として参加し、来場者に対し図書館サービスのPRに努めた。

● 31年度の取組

○高等学校通級の取組については、明鏡高等学校の通級指導の充実と市立高等学校での通級指導の在り方について検討する。

○外部専門機関と連携した英語指導力向上事業において、小中高の実践を紹介するとともに、成果と課題を共有し、小中高連携の機運を高めていく。

○にいがた市民大学では、後期講座で現地学習・討論や製作などを取り入れた少人数のゼミナール形式で2講座を実施する。学んだ成果をレポート集としてまとめ、中央図書館等で周知するとともに、自主的な学びを深めていくために「自主グループ」結成の支援を行う。

○引き続き、新潟大学附属図書館と新潟県立図書館との間で配本ネットワークを実施する。また、この協働事業が令和元年度に10周年を迎えるため、記念講演会を開催し、より多くの市民に図書館資料を活用してもらうよう、図書館及び配本ネットワークについてPRする。

○企業や地域へ情報発信することで団体貸出の登録を増やし、より多くの市民に本を届けるため図書館のPRに努める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		学校関係者評価の結果に基づく検討・改善を行った学校の割合(%) (学校関係者評価の結果を公表した学校の割合)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%	
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				

指標2		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8		H30評価						
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校評価の充実	
H30事業計画	H30事業成果
○学校評価シートの改善と学校評価の定期的実施 ○学校評議員の全学校設置 ○学校マネジメント研修会の開催	○指導主事による学校訪問を年2回実施し, 学校評価に基づく指導・助言を実施 ○学校評議員が全学校に配置され, 学校評議員会開催による地域住民の参画の推進
当初予算額	0千円
決算額	0千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4 千円	H27	23 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4 千円	合 計	23 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○全市立学校園から学校評価計画書が提出され、地区担当指導主事による学校訪問を通して、学校園の課題解決のための指導・助言が行われた。

◎全市立学校園に学校評議員の設置を終了し、学校園の課題解決に向けて情報共有が進んだ。

○学校マネジメント研修会を4月25日に市立校園長を対象に実施し、各学校園は課題の解決に向けて取り組むことができた。

● 31年度の取組

○学校評価の進捗状況評価(中間評価)を10月に実施し、地区担当指導主事の学校園訪問による指導・助言を進める。

◎学校評議員の活用による年度末評価を3月に実施する。

○学校教育の重点の変更に伴い、学校シートの改善する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習ボランティアの登録者数(人)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,386	1,392	1,175	1,200	1,225	5	116.5%
進捗状況	1,380	1,344	1,154	1,238	1,442			
指標2	公民館活動協力員との協働事業数(本)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		165	165	165	165	165	4	95.8%
進捗状況	140	163	154	166	159			
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習ボランティア育成支援事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○生涯学習ボランティアの養成 ○生涯学習ボランティアバンクの登録・活用		○生涯学習ボランティアバンク登録者数 1,442名 ○生涯学習ボランティアバンク派遣人数 230名	
当初予算額	123 千円	決算額	23 千円
構成事業2 公民館活動協力員との協働事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○事業企画・運営 ○活動協力員会議		○活動協力員と協働して事業企画・運営を実施	
当初予算額	3,365 千円	決算額	3,958 千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	3,444 千円	H27	5,309 千円
H28	3,013 千円	H28	5,061 千円
H29	3,755 千円	H29	4,641 千円
H30	3,488 千円	H30	3,981 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	13,700 千円	合 計	18,992 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを更新設置し、要請のあった関係機関等に登録されたボランティアを派遣するなど、学びの循環を推進した。また、ボランティアバンク登録者による自主企画講座やボランティア団体との共催事業の実施に向け、協働し進めた。
※決算額については、8-1の学習情報の収集・提供・相談事業と一部事業が重複しており、ボランティアバンクに関する決算額のみを掲載した。

◎生涯学習ボランティアバンクをチラシ、ホームページ等を通じて周知に努めた。

○地域の実情やニーズを事業に反映できるように、各公民館で活動協力員と協働して事業の企画と運営を行った。

● 31年度の取組

◎生涯学習ボランティアバンクの周知をホームページやフェイスブック等を通じて行うほか、公民館や学校等関係機関と連携してボランティアバンク登録者の派遣を促進する。また、登録者による自主企画講座を実施するなど、活躍の場を創出する。他課と連携しながらボランティアを必要とする情報収集等に努める。

◎市民が学びを通して新たなつながりを広め、学習成果を地域で生かすために、生涯学習ボランティア入門講座や、スキルアップ講座を実施する。

○活動協力員の委嘱替えに伴って、新しい活動協力員が加わることから、異なった視点からの意見や地域のニーズを把握しながら、協働して事業を企画・運営していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		34	68	102	136	166	4	131.4%
進捗状況	8	34	69	102	134			

●施策を構成する事業

構成事業1【新規】		H30事業成果	
H30事業計画		H30事業成果	
○「防災教育」学校・地域連携事業指定校を指定し、家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進		○「防災教育」学校・地域連携事業に33校を指定し、各市立中学校区で3回以上のミーティングを実施し、年度末に地域と連携した防災教育の自校化プログラムを作成	
当初予算額	9,847 千円	決算額	9,248 千円

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,600 千円	H27	9,131 千円
H28	11,134 千円	H28	10,689 千円
H29	10,450 千円	H29	9,987 千円
H30	9,847 千円	H30	9,248 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	44,031 千円	合 計	39,055 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○「防災教育」学校・地域連携事業で32校を指定し、各市立中学校区における防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議を行っている。

○5月に、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの＜教職員ガイド編＞を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行った。また、中学校区単位でのワークショップを行った。その結果、各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

○各実践校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、少しずつ地域と連携した取組が広がってきた。

○2月に、今年度の指定校と来年度の指定校を集めて報告会兼研修会を行った。今年度の指定校からは、実際に一年間取組を続けてきた成果と課題が具体的に出され、来年度指定校の代表者はその話を聞きながら、来年度の取組について考えることができた。

●31年度の取組

○32校の指定校に対して、各実践校で、系統的・継続的な防災教育指導計画作成を行い、自校化した計画を継続して取り組めるように研修会や市立中学校区単位でのミーティングを開催していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	地域と連携した組織的な見守り活動を行っている学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	57.5	100.0	100.0	100.0	100.0			

指標2	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標3	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標4	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標5	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標6	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標7	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標8	H30評価						H30評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域見守り活動支援事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○「子ども見守り隊」実施要項の集約	○「子ども見守り隊」実施要項の集約	○各小学校で通学路等における危険箇所の総点検を実施,	○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の連携会議を実施
○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導	○スクールガードリーダーによる安全マップの作成	○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導	
当初予算額	737 千円	決算額	5,791 千円

構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	1,063 千円	H29	1,062 千円
H30	737 千円	H30	5,791 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,800 千円	合 計	6,853 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○スクールガードリーダーについて、年度当初は1回3時間の勤務を月2回、年間18回の勤務を計画していたが、児童生徒の登下校時の安全確保のため、6月以降の勤務を月6回に増やした。この結果、通学路での見守り回数、各学校への訪問回数が増加し、子ども見守り隊の活動や各学校の安全・防犯活動に、一層かわることができるようになった。

○各学校では、児童生徒の登下校の見守り活動の充実を図るために、子ども見守り隊に参加するボランティアの募集を継続して行っている。その結果、ボランティア登録者数はH29年度末と比較して約2割増加している。

○不審者情報を迅速かつ的確に把握し、情報を発信するために、不審者情報の新たな伝達方法を各学校に周知し、学校及び関係団体等への情報提供ができるようにした。

○各小学校では関係者が一堂に会して、通学路等における危険箇所の総点検を実施し、防犯上の危険箇所の洗い出しを行うとともに校区の安全マップの作成または修正を行った。

● 31年度の取組

○スクールガードリーダーについては、1回3時間の勤務を月6回、年間54回(8月、2月、3月を除く)とし、30年度並みの見守り体制を継続する。

○各小学校では、通学路等における危険箇所の総点検会議を実施し、子ども見守り体制の改善を図るとともに、関係団体等との連携を一層推進する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	市立学校施設の耐震化率(%)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	-	-	-		
進捗状況	98.0	100.0	100.0	-	-	-		
指標2	H29～市立学校施設の非構造部材の耐震化促進(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	16	8	5		
進捗状況	-	-	-	16	8		4	50.0%
指標3	H29～市立学校施設のトイレ改修促進(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	13	13	7		
進捗状況	-	-	-	13	13		4	100.0%
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築事業及び大規模改修事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○大規模改修事業等で非構造部材の耐震化及びトイレ改修を実施する。		○大規模改修事業等で非構造部材の耐震化及びトイレ改修を実施し, 安全かつ快適な学校施設の整備を行った。 ※額は, 大規模改修だけの工事費も含む。	
当初予算額	2,644,400 千円	決算額	2,442,098 千円
構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,669,200 千円	H27	7,333,239 千円
H28	1,382,900 千円	H28	1,273,048 千円
H29	4,861,700 千円	H29	4,562,744 千円
H30	2,644,400 千円	H30	2,442,098 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	15,558,200 千円	合 計	15,611,129 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○計画どおりに工事を実施し,安全かつ快適な学習環境の整備と避難所としての環境整備を進めた。
 ・非構造部材の耐震化8校(外壁改修・ガラス入替えなど)
 ・トイレ改修13校(洋式化・ドライ化など)

●31年度の取組

○引き続き,子どもの安全確保と避難所としての環境整備に向け非構造部材の耐震化及びトイレ改修の推進に取り組んでいく。
 ・前年度より国補助が削減となることから実施校は減少

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合
 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>
 当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●施策を構成する事業

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
指標5	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	2	88.1%
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43			
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	5	141.7%
進捗状況	-	4	4	24	34			
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H30評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56	56			
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

構成事業1 就学援助事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配布	○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配布 ○小学校新入学学用品費の支給を昨年度より2週間程度早めて支給を行った。	
当初予算額 1,107,076 千円	決算額	1,049,713 千円
構成事業2 奨学金貸付事業(高校～大学院)		
H30事業計画	H30事業成果	
○奨学金の貸付、返還 ○募集時の案内チラシの配布のほか、市内の高校を通じて来年度の進学予定の高校3年生に案内チラシを配布 ○返還者に「返還特別免除制度」チラシを納付書に同封	○奨学金の貸付(339名)、返還 ○募集時に案内チラシの配布、市内高校に通う高校3年生に次年度の案内チラシの配布、早期制度周知のためポスターを作成し掲示を依頼 ○返還者に返還特別免除制度チラシを納付書に同封	
当初予算額 136,375 千円	決算額	133,184 千円
構成事業3 社会人奨学金貸付事業		
H30事業計画	H30事業成果	
○奨学金の貸付、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシを配布	○奨学金の貸付(7名)、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシを配布	
当初予算額 4,800 千円	決算額	2,800 千円
構成事業4 ふれあいスクール事業(再掲)		
H30事業計画	H30事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し、モデル校4校において実践。研修会にて、実践発表。 ○プログラム集の活用を広報し、実践のための指導、助言を行った。	
当初予算額 31,555 千円	決算額	29,470 千円
構成事業5 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】		
H30事業計画	H30事業成果	
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月11日予定)	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月11日) ○参加延べ生徒数16,131人	
当初予算額 6,182 千円	決算額	6,121 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額 千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,463,814 千円	H27	1,413,048 千円
H28	1,416,011 千円	H28	1,330,116 千円
H29	1,373,363 千円	H29	1,293,337 千円
H30	1,285,988 千円	H30	1,221,288 千円
H31	千円	H31	千円
合計	5,539,176 千円	合計	5,257,789 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○就学援助は、私立学校を含めて全ての小・中学校で、4月に保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を配布した。児童生徒数58,251人のうち、認定者数13,245人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費などの一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を行った。また、就学援助制度の在り方や方向性を検討するにあたり、義務教育などに係る保護者の経済的な負担やニーズを把握するための実態調査を行った。

○奨学金制度は、募集定員101人に対し、同数人数の応募があった。選考基準を満たした募集員100人に採用決定し、貸付を行い、高等教育の機会均等を図った。本市への定住促進を図るため、返還者に対して納付書に「返還特別免除制度」のチラシを同封した。

○社会人奨学金制度は、募集定員6名に対し、1人の申請があった。キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

◎ふれあいスクール事業は、平成30年度に小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行うことで共通理解を図ることができた。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者200名うち放課後児童クラブ支援員44名、第2回研修会10月実施 参加者194名うち放課後児童クラブ支援員47名。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践をした。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者215名)では、モデル校4校の実践を発表することで、自校に取り入れたいという意識を高めることができた。また、土曜プログラム集を活用してもらったため、研修会で紹介したり、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行ったりした。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校があった。10月にアフタースクール学習支援員の研修会を行い、後期の指導に活かした。全体での一斉授業と個別の支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を全市立中学校で展開している。

● 31年度の取組

○就学援助は、私立学校を含めて全ての小・中学校に、改めて10月に保護者全員に「就学援助制度」の周知チラシを配付し、制度周知の強化を図る。

○就学援助制度の在り方や方向性について、学識経験者等からなる意見聴取会議を開催し、今後の制度内容について検討する。

○早い段階から奨学金制度を知ってもらえるよう市内の高校へポスターの掲示及び高校3年生にはチラシ配付の依頼を行い制度周知を図る。

○本市への定住促進を図るため、これから就職を決める機会となる来年度の継続貸付者へ「返還特別免除制度」チラシを配付する。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるよう今年度もモデル校4校において土曜プログラムを実施し、研修会で報告することで土曜プログラムを活用してもらえるようにする。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

○全市立中学校に学習支援員を配置するとともに、5月の学習支援員連絡会等を通して新潟市の生徒の状況を踏まえた学習支援が引き続き展開されるように努める。

● 推進委員からの意見・要望等

○就学援助の周知率は、全児童生徒の家庭に配布したということで100%になっているが、この4年間100%が続いている。この指標目標をこのまま続けていくのか。一方、就学援助認定者数の割合を見ると全体の22.8%であるが、これでよとするのか。また、奨学生(社会人)の採用率は、募集定員6名のうち1名の申請ということで100%としているが、その根拠は何か。
⇒成果指標というよりも活動指標となっている。この2つの指標に対しては、今後どういった指標が考えられるか検討する。アンケートを取り、満足度指標を採用する案も検討しているが、第3期実施計画が今年度で終わるため、指標の継続性から今年度まではこの指標を継続し、第4期実施計画において新しく指標を設定したい。
奨学生については採用率ということで、条件を満たして奨学金を受けたいという方に対して支給することができたか、という指標である。社会人の奨学金においては、応募者1名に対して、きちんと奨学金を貸すことができたため100%としている。逆に予算以上に応募があった場合には貸せないということもあり、そのときは率が下がることになる。
(委員からの要望)非常に大事な奨学金制度なので、ぜひ大勢の方から活用してもらえるよう推進してほしい。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H30評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	4	111.1%
進捗状況	5.0	34.0	68.0	90.0	100.0			
指標2	教育ネットワークの構築						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発		
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究	調査検討	計画(案)策定			
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校ICT環境整備事業			
H30事業計画		H30事業成果	
○PC教室用の端末等機器の更新(タブレット端末含) ○校内LAN用PCの更新(タブレット端末含) ○教職員用PCの更新		○PC教室用の端末等機器の更新(45校 1,168台うちタブレット190台) ○教職員用PCの更新(44校 630台)	
当初予算額	867,489 千円	決算額	823,389 千円
構成事業2 教育ネットワーク構築事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○教育ネットワーク構築に係る調査研究		○教育ネットワーク構築基本計画(案)の作成を行った。	
当初予算額	7,000 千円	決算額	5,114 千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	750,275 千円	H27	735,201 千円
H28	809,582 千円	H28	796,482 千円
H29	820,428 千円	H29	839,104 千円
H30	874,489 千円	H30	828,503 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合 計	3,254,774 千円	合 計	3,199,290 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○教育用コンピュータ, 教職員用コンピュータの更新を計画どおりに実施した。

- ・教育用コンピュータ 45校 1,168台 (内タブレット 190台) 更新
- ・教職員用コンピュータ 44校 630台 更新

○教育ネットワーク構築基本計画(案)を作成した。

●31年度の取組

○教育用コンピュータ

- ・予算減額による影響を最小限に抑えるため, 2か月程度のリース延長を行ったうえで予算を確保し, 同等の台数を確保する。
- ・教育の質の向上につながる有効なアプリケーション等の導入について検討を行い, 必要な見直しを行う。

○校内LAN用コンピュータ

- ・予算減額による影響を最小限に抑えるため, 2か月程度のリース延長を行ったうえで予算を確保し, 同等の台数を確保する。

○教職員用コンピュータ

- ・計画どおりに更新する。

○新潟市教育ネットワーク

- ・「教育ネットワーク構築基本計画」を策定し, インフラ基盤となる通信回線の敷設を行う。

●推進委員からの意見・要望等

○タブレット型コンピュータを整備した市立小・中学校の割合が100%となっているが, この数字の内容はどのようなものか。
 ⇒現在市立小・中学校で各校13台の整備を目標にしており, それが整備されたかという指標である。基本的に1校で13台, 2020年度においては16台まで目標を上げていく。問題は, 大規模校でも小規模校でも同数台の整備であり, 学校規模によって使う頻度が極端に変わるということである。国の指標では3クラスに1クラス人数分のタブレットを整備するという計画がある。新潟市規模になると財政規模として相当な額であるため, 現在では2020年度までには16台を, 全小中学校に整備することとしている。
 (委員からの要望)タブレットは様々な活用の仕方がある。今後は, 何のためにどのような形で使用していくのか, 目的を明確にして整備を進めることも考えていけるといいのではないか。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ボランティア室整備学校(累計校数)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	47	57	60	62	4	103.4%
進捗状況	43	46	51	58	60			
指標2							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 ボランティア室等の整備	
H30事業計画	H30事業成果
○大規模改修に伴い2校で整備 ※金額は, 大規模改修等の一部につき省略	○大規模改修に伴い2校で整備 ※金額は, 大規模改修の一部につき省略
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○コミュニティの拠点となるボランティア室の設置について、大規模改造工事で整備を行った。
 ・整備校は2校(山潟小, 横越小)

● 31年度の取組

○引き続き大規模改造工事に合わせ、ボランティア室の整備をすることで、コミュニティの拠点としての学校施設整備を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	大規模改修整備校数(校)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	12	16	8	5	4	50.0%
進捗状況	15	12	6	16	8			
指標2							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築・新築, 大規模改修及びその他の老朽改修事業【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○大規模改修工事を8校で実施 ※金額は, 10-(3)と一部重複		○大規模改修工事を8校で実施した。 ※金額は, 10-(3)と一部重複	
当初予算額	2,337,600 千円	決算額	2,237,695 千円
構成事業2			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,024,400 千円	H27	3,738,300 千円
H28	3,277,000 千円	H28	1,933,387 千円
H29	4,685,900 千円	H29	4,393,474 千円
H30	2,337,600 千円	H30	2,237,695 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	14,324,900 千円	合 計	12,302,856 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○計画どおり大規模改修工事を実施し,安心・安全で快適な学習環境の整備を行った。
 ・大規模改修実施8校(牡丹山小,竹尾小,山潟小,曾野木小,横越小,亀田小,味方小,木戸中)

● 31年度の取組

○予定している大規模改修工事を実施し,より安全で快適な学習環境の整備を目指す。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習相談件数(件)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340	2	80.1%
進捗状況	297	296	307	326	261			
指標2	図書館資料予約件数(件)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		694,000	706,000	718,000	731,000	743,000	4	102.2%
進捗状況	643,178	726,836	747,277	740,125	756,056			
指標3	市民一人当たりの図書館資料(雑誌, AVを含む)貸出点数(点)						H30評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5.82	5.92	6.02	6.12	6.22	3	99.8%
進捗状況	5.71	5.83	5.67	5.44	5.43			
指標4	郷土資料のデジタルアーカイブ化・国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		試行・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧		
進捗状況	-	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧			
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業(再掲)	
H30事業計画	H30事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会	○生涯学習の収集・提供及び学習相談件数 261件 ○生涯学習相談ボランティア養成講座参加者 107名 ○生涯学習ボランティアスキルアップ講座参加者 110名 ○パソコン初心者向け講習会参加者 371名
当初予算額 203 千円	決算額 189 千円
構成事業2 図書館サービス向上事業	
H30事業計画	H30事業成果
○配本車の運行 ○図書館情報システムの維持管理 ○「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用の拡大	○配本車の運行 ○図書館情報システムの維持管理 ○「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用の継続・拡大
当初予算額 114,067 千円	決算額 114,807 千円
構成事業3 電子図書館機能の整備【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」への参加 ○デジタルアーカイブ公開資料の追加(予算はネットワーク費に含む)	○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」への参加 ○デジタルアーカイブ公開資料の追加(平成30年度決算はネットワーク費に含む)
当初予算額 0 千円	決算額 0 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	149,308 千円	H27	143,940 千円
H28	114,008 千円	H28	110,821 千円
H29	115,142 千円	H29	112,503 千円
H30	114,270 千円	H30	114,996 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	492,728 千円	合 計	482,260 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

- ◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行った。
- ◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学びの成果を地域活動や教育活動に生かすため、ボランティアバンクの登録・更新及び派遣を行った。また、ボランティアバンクへの登録及び活用の拡充を図るため、関係課と連携し、ボランティアバンクのPRを行った。
- ◎市民の学習相談に応じるため、生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供及び学習相談・出前学習相談を実施した。
- ◎生涯学習相談やボランティアについて理解を深めてもらうため、生涯学習相談ボランティアの研修会を実施し、新たにボランティアが加わった。
- ◎パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施し、市民の主体的な学習活動を支援した。
- ◎ボランティア同士の交流・情報交換や活動するうえでの課題を解決するため、スキルアップ講座を実施した。
- ◎「新潟広域都市圏連携協約」に伴う図書館相互利用を、新発田市、阿賀野市、聖籠町、五泉市に加え、新たに阿賀町、胎内市、弥彦村、田上町と開始した。各市町村の住民がそれぞれの市町村の図書館を利用し、所蔵資料を有効活用することができた。
- ◎「新潟市立図書館デジタルアーカイブ」のページで、新津図書館の5点の郷土資料デジタルデータを追加公開した。

● 31年度の取組

- ◎市民の多様な生涯学習活動を支援するため、引き続き「研修・講演 講師紹介ガイド」による人材・講師情報の提供を行う。
- ◎生涯学習ボランティアバンクの周知をホームページやフェイスブック等を通じて行うほか、登録者による自主企画講座を実施し、活躍の場を創出する。また関係課と連携し、ボランティアの登録と活用の拡充を図る。
- ◎生涯学習相談の現状と課題を把握し、ボランティアと意見交換しながら、市民の学習相談体制の充実を図る。
- ◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施し、市民の生涯学習活動につなげる。
- ◎市民が学びを通して新たなつながりを広め、学びの成果を地域活動や教育活動に生かすために、生涯学習ボランティア入門講座やスキルアップ講座を実施する。
- ◎引き続き、「新潟広域都市圏連携協約」に基づき、近隣自治体との相互利用を進める。
- ◎「新潟市立図書館デジタルアーカイブ」のページで、新津図書館の7点の郷土資料デジタルデータを追加公開する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	85.0	85.0	88.5	90.0	4	103.4%
進捗状況	80.0	87.0	87.5	88.1	91.1			
指標2	マイスター養成塾修了者(名)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		102	108	110	128	133	4	105.8%
進捗状況	102	103	110	121	128			
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		7	7	7	8	8	4	100.0%
進捗状況	7	7	7	8	8			
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育関係職員の研修プログラムの一層の充実	
H30事業計画	H30事業成果
○キャリアステージ研修(法定研修, 若手教師道場, マイスター養成塾等) ○専門研修(組織力向上研修, 授業力向上研修等)	○キャリアステージ研修(法定研修, 若手教師道場, マイスター養成塾等) 4,272名 ○専門研修 3,379名
当初予算額 8,552 千円	決算額 6,471 千円
構成事業2 学社民融合研修の推進	
H30事業計画	H30事業成果
○パートナーシップ事業研修会(3回) ○ふれあいスクール研修会(3回) ○公民館改革職員研修 ○生涯学習関係管理職研修 ※1項目目, 2項目目の当初予算額はシート9-(1)に掲載	○パートナーシップ事業研修会(3回) 延参加者数1,027名 ○ふれあいスクール研修会(3回) 延参加者数609名(放課後児童クラブ支援員含む) ○公民館改革職員研修(1回) 参加者 108名
当初予算額 147 千円	決算額 68 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,167 千円	H27	4,034 千円
H28	6,482 千円	H28	4,792 千円
H29	10,652 千円	H29	8,870 千円
H30	8,699 千円	H30	6,539 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	32,000 千円	合 計	24,235 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○平成30年度教育関係職員の研修プログラムとして、開講・実施した講座は以下のとおりである。

- ・キャリアステージ研修64講座、延べ受講者数4,272人
- ・専門研修70講座、延べ受講者数 3,379人(計134講座 延べ受講者数7,651人)

○キャリアステージ研修における法定研修・若手教師道場は、「マンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持して実施できた。キャリアステージ研修講座修了後に実施した受講者の満足度評価では、肯定的評価が95%以上を占め、受講者のニーズに対応した丁寧な研修が評価された。

○マイスター養成塾では、7名の修了者を輩出したが、認定者は平成29年度入塾生6名中3名、平成30年度入塾生9名中1名、計4名であった。平成29年度入塾生の認定者が3名にとどまったことから、認定に至らなかった原因および、その指導方法について検証し、次年度の修了者研修に臨む。今後も所内で月2回のペースで指導主事研修を実施し、複数の指導主事による連携等を図り、研修効果が上がる工夫を行う。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が計78名が参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、ネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

- ・第1回研修会(5月8日・14日・17日)参加者527名(うち学社民融合支援主事38名、図書館職員13名)
- ・第2回研修会(8月8日)新任校長研修、参加者30名
- ・第3回研修会(11月22日・27日・29日)参加者470名(うち学社民融合支援主事19名、図書館職員8名)
- ・研修幹事会(7月2日・1月25日)研修幹事を中心とした区研修を、各区3回以上実施した。

○4月の学校マネジメント研修において、地域学校協働活動推進に関する研修を校長に、5月には地域連携担当職員に対する研修を行った。校長と地域連携担当職員による教職員への指導・啓発が進み、学校を核とした地域の連携・協働が一層進むと期待される。

○新任コーディネーターを対象に、事業理解・スキルアップを図るため、4月と1月に研修を開催。また、新任コーディネーターを支援するため、経験豊富な地域教育コーディネーターをアドバイザーとして各区に配置した。

○ふれあいスクール運営主任の研修会に、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技研修を行った。(6月実施 参加者 200名(うち放課後児童クラブ支援員44名)、10月実施 参加者194名(うち放課後児童クラブ支援員47名))。

○「学・社・民の融合による人づくり・地域づくり」を推進するため、生涯学習・社会教育関係職員(係長以上)の意識啓発と資質向上を図るための研修を開催。講演・グループディスカッション等を行い、参加者は社会教育施設の果たす役割について改めて理解を深めることができた。

● 31年度の取組

○キャリアステージ研修・専門研修ともに、受講者の受講満足度の肯定的評価Aが91.0%以上を目標に、内容の精選と重点化、研修形態の工夫などに取り組み、受講者のモチベーション向上につながる研修講座を実施する。

○マイスター養成塾受講者14名を対象に、認定授業終了時の合格細目割合平均80%以上または、認定授業終了時の合格細目割合平均が、年度当初の授業における評価と比較して、15%以上上昇した者の割合75%以上となることを目指し、指導案指導、授業研究等への指導・支援を充実させる。

○学社民融合支援主事と図書館職員が参加する事業研修会、研修幹事会、区研修を実施する。

○地域との連携・協働を進める上での課題(「重点化」と目標共有を通じた「役割分担」、広報活動、コミュニティースクールとの接続)をテーマに、地域と学校パートナーシップ事業研修会を実施する。

○ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また、各校のふれあいスクールを訪問し、実施についての指導助言を行う。

○公民館職員のスキルアップを図るため、全公民館を対象にした研修を開催する。

○これからの社会をたくましく生き抜く力を育成するため、「学・社・民の融合による人づくり・地域づくり」における生涯学習の果たす役割と方向性を深めていく研修に取り組むとともに、社会教育関係職員の専門的知識と技術を高める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
2.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)→H30～月当たり平均時間外勤務時間が45時間以下の教職員の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		65.0	66.0	66.0	70.0	70.0	3	
進捗状況	64.2	65.8	64.9	50.3	63.8			
指標2	教職員の病気休暇・休職者(30日以上)のうち精神疾患者の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		41.5	41.5	38.0	38.0	41.5	2	83.0%
進捗状況	43.9	42.1	38.9	38.3	44.8			
指標3	支援を要する教職員(人)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	14	13	13	14	2	100.0%
進捗状況	15	15	14	15	15			
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 多忙化解消対策の推進		
H30事業計画	H30事業成果	
○第2次多忙化解消行動計画の推進 ○時間外勤務時間の把握と実態調査の実施 ○校長長会と合同での働き方改革の研修会の実施 ○1校1取組, 1人1取組による意識啓発	○第2次多忙化解消行動の推進 ○時間外勤務の把握と実態調査の実施 ○スクールロイヤーの導入によるより良い問題解決 ○働き方改革リーフレット作成による理解の促進	
当初予算額	128 千円	決算額 0 千円
構成事業2 教職員ヘルスケアシステム		
H30事業計画	H30事業成果	
○教職員健康管理委員会開催 ○職場復帰のための支援体制整備 ○メンタルヘルス相談体制充実 ○職員研修の開催 ○過重労働対策医師面談	○心と体の相談室(相談22件) ○メンタルヘルス研修・講座(4回・約240名受講) ○職場復帰支援プログラム(対象者延7名) ○教職員健康管理委員会(審査延90件) ○長時間労働者保健指導(対象者43名)	
当初予算額	678 千円	決算額 739 千円
構成事業3 支援を要する教職員の研修		
H30事業計画	H30事業成果	
○対象教職員に対する指導力向上研修の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会の開催	○対象教職員に対する指導力向上研修の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会の開催	
当初予算額	114 千円	決算額 81 千円
構成事業4		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H30事業計画	H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	989 千円	H27	836 千円
H28	968 千円	H28	562 千円
H29	1,121 千円	H29	868 千円
H30	920 千円	H30	820 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合 計	3,998 千円	合 計	3,086 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○多忙化解消対策の推進
 ・市立校園長研修会や小中学校長会を通して、第2次多忙化解消行動計画の具体的な方策や自校の取組についての認識を深めた。
 ・全市立学校園の1校1取組を集約し、各学校へ紹介したり、学校訪問等での支援に生かした。
 ・出退校簿の入力フォームを改良し、円滑な教職員の勤務実態の把握に努めた。
 ・夏休みの8月13日から15日までの間を、原則、学校に勤務者を置かない「学校閉庁日」とするとともに、冬休みに「年休取得促進日」を設定し、教職員の休暇取得の促進に努めた。
 ・スクールロイヤー制度の導入により、学校が抱える問題のよりよい解決と教職員の精神的負担軽減を図った。
 ・教職員の時間外勤務時間が月平均45時間以下の割合が増加し、80時間超の割合が減少した。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・各種研修を予定通り実施することで、教職員の健康管理に対する意識を高めることができた。
 (新任校長研修等、既存の研修に組み入れた研修、職種や経験年数に応じたメンタルヘルス研修)
 ・健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討や判定を行った。委員の助言を勤務校に伝えることで、スムーズな復職への支援の一助とすることができた。
 ・精神疾患による療養休暇者・分限休職者に対し、職場復帰への準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムを行った。
 ・教職員のための健康相談窓口を開設し、教職員の健康不安の軽減と健康保持増進を図った。
 ・長時間労働を行った教職員に対して医師による面接指導を行い、教職員の健康障がい防止を図った。

○支援を要する教職員の研修
 ・学校訪問の際に、支援を要する教職員の状況について確認し、校園長と連携して校内研修の充実を図った。
 ・学校からの要請により、総合教育センター及び学校支援課と連携して支援を要する教職員に対する研修を行い、指導力向上を図った。

●31年度の取組

○多忙化解消対策の推進
 ・勤務時間の把握とともに、多忙化解消に向けた取組に関する調査を実施する。
 ・スクールロイヤーや産業医などの専門家の助言を生かしたマネジメント力の向上を図る取組を推進する。
 ・モデル校や市立学校園の取組を分析、評価し、成果をあげた取組やそのポイントを共有、発信していく。(「やるてば新潟フォーラム」など)
 ・「学校閉庁日」と「年休取得促進日」を拡大することによって、年休を取得しやすい環境づくりを行う。
 ・多忙化解消検討会議において、「第2次多忙化解消行動計画」の進捗について確認し、計画の修正や新たな取組の検討を行う。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・月1回、健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討及び判定を行う。委員からの助言を勤務校に伝えて職場復帰を支援する。
 ・精神疾患による療養休暇者や分限休職者に対し、職場復帰の準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムの実施を働き掛ける。
 ・機会を捉えて、教職員のための健康相談窓口の周知を図る。
 ・ストレスチェック結果の活用等をテーマに、管理職対象の研修会を実施する。
 ・長時間労働を行った教職員に対し、医師による面接指導を実施する。

○支援を要する教職員の研修
 ・支援を要する教職員に関する情報収集に努め、校園長との連携により効果的な支援を進める。
 ・実施中の指導力向上研修をさらに進め、対象者の教師力向上を図る。
 ・支援を要する教職員に関する委員会を開催し、次年度の支援の在り方を検討する。

●推進委員からの意見・要望等

○教職員の多忙化解消対策について、意識啓発として挙げた事柄が「平成30年度事業成果」と「平成31年度の取組」ではその表記がなくなっている。平成30年度はどうなったのか、また平成31年度はどうしていくのか。
 ⇒取組をやめたということではなく、例えば1校1取組についてはもう定着したものとして継続を続け、好事例についても情報共有をして、様々な学校で取り入れていくようにしている。「31年度の取組」の中に入れたものについては、第2次多忙化解消行動計画の中で、さらに重点的に取り組んでいきたいものを中心に挙げているため、平成30年度に載っていたものをやめたということではない。

●H30施策評価

3期進捗平均
3.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合
 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>
 当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	出願倍率(倍)(出願数/採用者数)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4.2	4.9	3.6	3.1	3.0		
進捗状況	4.1	5.5	4.3	3.4	2.8		3	82.4%
指標2	女性管理職等(教頭, 主幹教諭, 主任)の割合(%) ※次年度4月1日現在における目標値						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		38.0	38.0	37.0	38.0	40.0		
進捗状況	36.0	35.4	36.3	36.1	36.0		3	99.7%
指標3	マイスター配置校の割合(%)※マイスターのいる市立学校の割合						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		28.0	30.0	33.0	38.0	40.0		
進捗状況	27.8	29.5	32.7	36.0	38.4		4	106.7%
指標4							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>
 I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
 II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
 III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
 (原則として前年度設定値以上)
 IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教員採用選考検査	
H30事業計画	H30事業成果
○教員採用選考検査の実施 ○翌年度の教員採用選考検査計画案の作成 ○人材確保のための工夫・改善	○教員採用選考検査の実施 ○平成31年度実施教員採用選考検査の骨格完成 ○人材確保のための工夫・改善について検討
当初予算額 4,273 千円	決算額 3,206 千円
構成事業2 管理職選考検査	
H30事業計画	H30事業成果
○管理職選考検査の実施 ○管理職の登用 ○翌年度の管理職選考検査の計画案作成 ○女性管理職の登用・人材育成	○管理職選考検査の実施 ○管理職の採用・登用の審議・決定・通知 ○翌年度の管理職選考検査の計画案検討 ○主任層への女性教員の抜擢, 女性教員への啓発等
当初予算額 71 千円	決算額 75 千円
構成事業3 適材適所の人員配置	
H30事業計画	H30事業成果
○異動方針・基準の周知徹底を図るとともに, 全市的視野に立ち, 校種間の連携を促進するために, 異校種間の異動を積極的に推進 ○学校課題に即した非常勤講師の配置	○新異動方針・基準の周知徹底 ○校種間の連携を促進するための異校種間異動を積極的に推進 ○学校課題に即した非常勤講師の配置
当初予算額 17,676 千円	決算額 9,487 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,068 千円	H27	13,008 千円
H28	16,250 千円	H28	13,276 千円
H29	20,580 千円	H29	13,998 千円
H30	22,020 千円	H30	12,768 千円
H31	千円	H31	千円
合計	77,918 千円	合計	53,050 千円

注：再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○ 教員採用選考

・出願者数の減少と採用予定者数の増加により倍率が低下している。
 ・昨年度、現職教員が在職のまま受検できることとした。その結果、今年度は、19名(昨年度+8名)の新潟県現職教員の受検があり、即戦力として期待できる出願者を確保することができた。
 ・今年度、教職経験者特別選考の出願要件となる勤務経験年数を短縮した(5年→3年)。その結果、教職経験者特別選考の出願者が37名(昨年度+17名)となり、即戦力となる出願者を多数確保することができた。

○ 管理職選考

・民間人面接官を含めた面接を実施するなど、公平性・透明性を確保した管理職選考検査を実施し、人物重視の登用することができた。
 ・受検者数は、校長選考検査受検者98名(昨年度 97名)、教頭等選考検査受検者167名(昨年度 152名)であり、管理職を志す人材を昨年度以上に確保できた。
 ・公募校長については、1名を新たに採用できた。

○ 教職員の適材適所への配置

・人事異動会議での校長からのヒアリングを通して、正規・非常勤の教職員の能力や各学校課題を把握するとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりに向け職住近接を考慮し、居住区、隣接区への配置に努めることができた。
 ・今年度の県との人事交流は、県への転出教職員数(教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員等)は16名、県からの転入教職員数65名である。市内に自宅があり、県から市内への転入を希望した教職員については全て受け入れ、市内配置を行った。

○ 女性管理職の登用

・管理職選考検査の女性受検者の人数：女性受検者数は校長20名(H29)→15名(H30)、教頭20名(H29)→23名(H30)と、昨年度と比較して、校長受検者で5名減、教頭等受検者で3名増となった。

○ 非常勤講師の配置

・育児休暇、療養休暇等により欠員が生じて児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、その都度、非常勤講師を配置した。
 ・各学校の実情に応じて、特別非常勤講師、免外解消非常勤講師、初任研非常勤講師など、非常勤講師を配置した。

● 31年度の取組

○ 教員採用選考

・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」を備えた教員を採用するため、採用選考検査の在り方を見直すとともに、厳正な採用選考検査を実施する。
 ・採用内定者を対象に採用ガイダンスを今後2回実施し、新潟市の教員としての意欲の向上を図るとともに、教員内定者としての服務規律を確保する。
 ・教員を志望する人材を増やすため、教育委員会のホームページに教員採用にかかわる特集ページを新規に開設したり、リーフレットを配布したりし、教員という仕事の魅力ややりがいを広く発信する。

○ 管理職選考

・公正・公平・透明性のより一層の向上を図りながら、人物重視の登用を行うとともに、管理職を志す人材の確保に向けて校長会等での働き掛けを進める。

○ 教職員の適材適所への配置

・人事異動に係る基準を基に、令和2年度初の人事異動を円滑に進めることができるようにする。
 ・令和2年度初の人事異動に向け、職住近接を基本に、適材適所の人員配置を行う。
 ・県との円滑な人事交流を行うために、今後も情報交換を密に行うとともに、人事異動登録票を基に先を見通しながら計画的に進めていく。

○ 女性管理職の登用

・力量のある女性を、積極的に管理職へ登用していく。

○ 非常勤講師の配置

・教職員の育児休暇、病気休暇等により、児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、今後も引き続き迅速に非常勤講師を配置する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		評価者研修受講者の充実度(満足度)が高い人の割合(%)					H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	4	100.0%
進捗状況		87.3	88.7	88.0	88.7	88.7		
指標2		優秀教職員の表彰					H30評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施		
進捗状況		-	実施	実施	実施	実施		
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事評価制度の実施・改善	
H30事業計画	H30事業成果
○教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施 ○平成29年度に使用した評価シートの改善検討	○権限移譲を踏まえた教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施(4回) ○新しい評価シートの開発
当初予算額 407 千円	決算額 182 千円
構成事業2 教職員表彰制度	
H30事業計画	H30事業成果
○被表彰者の選考と表彰の実施	○10名の教職員を選考し、優秀教職員として表彰
当初予算額 53 千円	決算額 3 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	966 千円	H27	934 千円
H28	788 千円	H28	778 千円
H29	563 千円	H29	365 千円
H30	460 千円	H30	185 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,777 千円	合 計	2,262 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○教職員人事評価制度についての説明会を年度当初に実施し、新しいシートを活用した人事評価の運用を図るスタートを切ることができた。

○1・2年目の校園長・教頭に対する評価者研修を開催した。(3回)

○教育委員会表彰に計25名の推薦があった。選考委員会で10名の表彰者を決定し、表彰式を実施した。

● 31年度の取組

○教職員人事評価の運用や育成指標、働き方の改善等の視点から、評価シートの見直しと改善を図る。

○学校教育に携わる様々な職種から、地道な努力を積み重ねていたり、優れた実績をあげたりしている優秀な教職員を表彰する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16	16	16	4	100.0%
進捗状況	16	16	16	16	16			
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29~(中学校区数)						H30評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28	17	4	100.0%
進捗状況	8	32	56	28	28			
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催【新規】	
H30事業計画	H30事業成果
○市立28中学校区で実施	○市立28中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング

- ・区教育ミーティングを各区2回実施した。
- ・区教育ミーティングでは、平成30年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行った。地域と学校との関わりについての成果や課題、教員の多忙化解消問題、登下校の子どもたちの見守りなどについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。
- ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等の把握を行った。

○中学校区教育ミーティング

- ・中学校区教育ミーティングを市立28中学校区で実施した。
- ・中学校区教育ミーティングでは防災教育をテーマとし、学校単位で作成されている防災教育プログラムに沿った取組を紹介するとともに、防災教育について地域と連携した進め方を意見交換した。
- ・参加者にミーティングについてアンケートを実施し、ニーズや課題等の把握を行った。

●31年度の取組

○区教育ミーティング

- ・区教育ミーティングは、各区2回開催し、区ごとのテーマで意見交換を行う。
- ・区自治協議会への教育情報の発信や地域の実情・課題を把握し、共有した情報を地域活動に生かせるよう取り組む。

○中学校区教育ミーティング

- ・中学校区教育ミーティングは同一テーマで、市立17中学校区で開催する。
- ・3年後に導入されるコミュニティ・スクール制度も見据えながら、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりをさらに進め、子どもに身近な地域で教育に責任をもてる体制を構築していく。
- ※中学校区教育ミーティングの実施回数については、平成30年度までは2年間で全市立中学校区で実践してきたが、平成31年度以降は3年間で全市立中学校区で実施する予定である。そのため、平成31年度指標目標は17中学校区としている。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	例規整備やシステム構築などの権限移譲準備						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	人給構築	人給稼働	-	-	-	-		
進捗状況	-	基本計画策定	人給稼働	-	-	-		
指標2	H29～教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備と市長部局との連携を図るため、「新潟市総合教育会議」を共同開催						H30評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	協議・開催	協議・開催	協議・開催	協議・開催		
進捗状況	-	-	協議・開催	協議・開催	協議・開催	協議・開催		
指標3							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H30評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 県費負担教職員の権限移譲準備【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業2 新潟市総合教育会議の開催【新規】			
H30事業計画		H30事業成果	
○市長部局と連携を図り, 教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備や, 教育課題に的確に対応することを目的とした年2回の総合教育会議の運営		○総合教育会議を30年度中に2回開催し, 会議録を市ホームページ上で公表した。	
当初予算額	0 千円	決算額	37 千円
構成事業3			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H30事業計画		H30事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	126,415 千円	H27	63,455 千円
H28	174,219 千円	H28	170,308 千円
H29	0 千円	H29	41 千円
H30	0 千円	H30	37 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	300,634 千円	合 計	233,841 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○総合教育会議

・上半期は、「全市をあげての子どもの安全確保」について本市のこれまでの取組と事件発生後の取組を説明するとともに、今後、市長部局と教育委員会が一体となって取り組む事業を説明し、協議を行った。また、本市の一貫教育の取組のうち、「新潟市共通接続期カリキュラム(幼保小連携)」について説明し、今後の進め方について協議を行った。

・テーマ内容について、各担当課から事務事業説明の後、市長と8人の教育委員が積極的に意見交換をした。

・教育委員からは、子どもの安全確保について、「多くの人の目で見守ることが大事、防犯カメラも大事だが、防犯灯を増やして灯りが多いまちなるといい」「安全マップは作って終わりではなく、親子で、または地域の方と一緒に歩いてみてほしい」などの意見があった。市長からは「防犯灯については補助の基準を定めて支給しているが、優先順位を加味しながら対応していく」との発言があった。また所管課からは「安全マップは作って終わりにはせず、継続的な取組を検討していく」との発言があった。

・「新潟市共通接続期カリキュラム」については、教育委員から「小学校にはいろいろな保育園や幼稚園から来る。中央区などは30くらいの園から来るので大事なことは各園と学校が共通理解を図ることである」などの意見があった。所管からは「市内の幼稚園、保育園から小学校への接続がスムーズになるよう、市立だけでなく私立も含めて様々な保育園、幼稚園を網羅し、すべての授業に取り組めるような形で進める」との発言があった。

・下半期は、「平成31年度の教育施策について」をテーマに、平成31年度の主な教育施策についてと、新潟市の学力向上に向けた取組について説明し、学力向上に向けた今後の取組について協議を行った。

・テーマ内容について、各担当課から事務事業説明の後、市長と8人の教育委員が積極的に意見交換をした。

・教育委員からは、外国語教育について重要なのはコミュニケーションであり、まずは外国語に慣れ親しみ、楽しく学びながら外国語を好きになってもらうことが重要であること、ICT政策については、タブレット端末は一人1台を理想とし、ICTの運用については学校の先生方だけでは大変なので、市長部局の専門機関との連携が重要であること、支持的風土の醸成には、お互いに認め合い、苦手な部分を助け合うことが大切で、学習面においても社会に出てからも重要であるということ、等の発言があった。

・市長からは学力の向上には、学校における互いに認め合い助け合う支持的風土が必要であり、家庭や地域において子どもたちを支えていくことが非常に重要であること、教育の大綱で定めている学・社・民の融合による教育の推進に向け、全市一体となった取組を教育委員会と市長部局が連携して深めていくこと、等の発言があった。

● 31年度の取組

○2月に「次年度の教育施策」に関連するテーマに基づき、第2回総合教育会議を開催する。それ以外に急に議論が必要な課題が生じた場合は、必要に応じて臨時開催を検討する。

○「教育の大綱」の有効期限が平成31年度末のため、新しい「教育の大綱」を定めるために総合教育会議の場で議論する。

● 推進委員からの意見・要望等

○総合教育会議のところで「支持的風土の醸成」という表現があるが、説明がほしい。
⇒今年度、学校支援課が一つの重点として全学校に示しているものであり、「支持的風土」を「認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う、温かい学級の風土」と定義している。3月に行われた総合教育会議の、学力向上プログラムの説明でこの言葉を使い、市長からも評価をいただいている。

●H30施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた共育通信(発行回数)						H30評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	4	4	4	-	-	-		
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標2	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	-	90.0	90.0	90.0		
進捗状況	-	-	-	88.9	94.3		4	106.1%
指標3							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標4							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標5							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標6							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標7							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標8							H30評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育情報発信事業	
H30事業計画	H30事業成果
○新潟市HPを用いて, 情報発信を行う。 ○6月～平成31年2月まで, 毎月1回を目途とする。 ○学校教育や社会教育の取組とともに, 教育ビジョンの施策を紹介する。	○新潟市HPを用いて, 情報発信を行った。 ○6月より開始し, 計11回発信することができた。 ○学校教育をはじめ, 社会教育の取組を写真とともに紹介した。
当初予算額	0千円
決算額	0千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を行った。

【6月 キラキラ新潟っ子応援団 No.1 第49号(平成30年6月13日)】
・授業のスペシャリスト ・けん玉名人 ・「初心者そば打ち体験講座」
「映画観賞会」

【7月 就学相談会(夏季・秋季)のご案内 第50号(平成30年7月3日)】

【7月 キラキラ新潟っ子応援団 No.2 第51号(平成30年7月17日)】
・学校保健のご意見番 ・高校英語 (ICT活用) ・「レクリエーションクラブ しん」

【8月 キラキラ新潟っ子応援団 No.3 第52号(平成30年8月9日)】
・民間人校長 ・中央図書館ボランティアグループ「おはなし日和」

【9月 子どものこころとからだNo.1 第53号(平成30年9月25日)】
・健康診断や保健室利用状況からみる子どもたちの健康

【10月 子どものこころとからだNo.2 第54号(平成30年10月26日)】
・小, 中学校における保健教育

【12月 子どものこころとからだNo.3 第55号(平成30年12月5日)】
・「がん教育」の実践内容 ・地元の食材を生かした「イベント給食」

【12月 生涯学習・社会教育の紹介 第56号(平成30年12月16日)】
・生涯学習センターの主な取組

【1月 平成30年度「教育委員会表彰」第57号(平成31年1月11日)】

【1月 公民館ってどんなどころ 第58号(平成31年1月28日)】
・公民館の主な取組 ・小針青山公民館「第71回優良公民館表彰」受賞

【2月 暮らしの中に図書館を 第59号(平成31年2月15日)】
・新潟市立図書館・学校図書館支援センターの主な取組

●31年度の取組

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」を継続する。(発信計画案)

【4月 新潟市就学援助・新潟市奨学金などの紹介 第60号(平成31年4月8日)】

【5月 就学相談会 保健室指導・食育事例 第61号(令和元年5月)】

【6月 指定都市学校保健協議会 ウェルカム参観日 第62号(令和元年6月)】

【7月 教育ビジョン第4期実施計画 大好きにいがた体験事業 第63号(令和元年6月)】

【9月 わたしの主張新潟市地区大会 生涯学習センターの取組 第64号(令和元年9月)】

【10月 北信越地区学校図書館研究大会 家庭教育学級 第65号(令和元年10月)】

【11月 いじめ防止フォーラム 中央図書館の取組 第66号(令和元年11月)】

【12月 笹山小学校閉校記念式典 新潟市教育の現状 第67号(令和元年12月)】

【1月 市民大学25周年特別講座 教育委員会事業の紹介 第68号(令和2年1月)】

【2月 進通つばさ小学校開校 多忙化解消対策 第69号(令和2年2月)】

【3月 教育ビジョン第4期実施計画の周知 第70号(令和2年3月)】

また、保護者に関わりの深い事業について、その都度情報発信をしていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標2		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8		H30評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校適正配置の推進	
H30事業計画	H30事業成果
○新潟市立学校適正配置基本方針に基づいた学校適正配置の推進	○木崎小・笹山小統合実行委員会と笹山小閉校記念事業実行委員会で、統合閉校の検討準備 ○鳥屋野小地域懇談会において、プレハブ教室の協議 ○児童生徒数推計について情報交換
当初予算額 700 千円	決算額 256 千円
構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,261 千円	H27	1,082 千円
H28	1,039 千円	H28	815 千円
H29	1,090 千円	H29	1,078 千円
H30	700 千円	H30	256 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	5,090 千円	合 計	3,231 千円

注:再掲事業分を含む

● 30年度の取組に対する評価

○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進している。主な取組は下記のとおりであり、いずれも概ね順調に進行了。

- ・今年度初めに、統合を完了した北区太田小学校と葛塚東小学校においては、6月に最終統合実行委員会を開催し、統合後の児童の様子やPTA組織などを確認した。またスクールバスの運行等については、更により良い運行を目指し、今後は太田地域コミュニティ協議会の中で検討を行うことを確認した。
- ・北区笹山小学校については、5月に木崎小学校への統合の要望書が提出され、9月教育委員会定例会にて決定した。10月に、それぞれ第1回の木崎小学校・笹山小学校統合実行委員会と笹山小学校閉校記念事業実行委員会を開催した。統合及び閉校に向けた検討・準備は順調に進んでいる。
- ・中央区鳥屋野小学校における児童数増加による大規模化対応については、5月に校舎増築による対応を求める要望書が提出された。また、来年度から使用されるプレハブ教室等の設置方法については、6～8月に、学校・PTA・コミ協の方々による3回の懇談会を開催し、意見の一致を図った。予算調整により、平成31年度から普通教室のプレハブ供用が行われている。
- ・西区新通小学校分離新設校については、5月に通学路における交通安全対策の要望書が坂井輪中学校区まちづくり協議会から新潟西警察署と西区役所に提出された。また7月から新通小学校分離新設校開校準備委員会を開催し、校名・校旗・校歌等の検討を行ってきた。校名は、開校準備委員会と教育委員会定例会を通じて「新潟市立新通つばさ小学校」に決定し、校旗・校歌については製作者の選定が行われた。

○児童生徒数の推計について、学校等と確認を行った。

● 31年度の取組

○平成30年度に引き続き、新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進する。主な取組は下記のとおりである。

- ・北区木崎小学校・笹山小学校統合実行委員会と笹山小学校閉校記念事業実行委員会を通じた統合・閉校に関する検討準備を支援する。
- ・西区新通小学校分離新設校開校準備委員会にて協議を継続し、開校に向けた様々な準備を進める。

○学校適正配置が必要な地域へ、児童生徒数の推計などの情報提供を行うとともに、今後について意見交換を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H30施策評価

3期進捗平均
3.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	指標どおりに概ね達成した施策の割合 (%)						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	90.2	85.0	85.0	80.0	3	90.8%
進捗状況	75.0	90.2	84.3	86.3	78.4			

指標2	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	H30評価						H30評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育ビジョンの適正な推進	
H30事業計画	H30事業成果
○教育ビジョン推進委員会を3回実施 ○全54施策の進行管理・評価を実施 ○施策の点検と評価のダイジェスト版を作成・配付	○教育ビジョン推進委員会の3回開催(5月, 11月, 2月) ○全54施策について, 中間及び最終評価による進行管理・評価の実施 ○10月にダイジェスト版を作成・配布
当初予算額 277 千円	決算額 317 千円

構成事業2	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H30事業計画	H30事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	588 千円	H27	609 千円
H28	812 千円	H28	732 千円
H29	553 千円	H29	546 千円
H30	277 千円	H30	317 千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,230 千円	合 計	2,204 千円

注:再掲事業分を含む

●30年度の取組に対する評価

○「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づく「教育委員会の事務執行にかかる点検・評価」として教育ビジョンの評価を活用した。

○10月に、教育ビジョン第3期実施計画のNEXT&NEWの20施策を中心にした『平成29年度施策の点検と評価(ダイジェスト版)』を作成し、市立各校の全教職員や関係機関等に配布した。このことにより、特に、教職員の新潟市教育ビジョン施策への関心を高めることができた。

○令和元年5月に、新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成30年度施策最終評価を行った。全施策の数値評価の平均は4.02、NEXT&NEWの平均は4.14となった。

○評価分布は、「概ね目標を達成した施策(=4)」と「目標を上回って達成した施策(=5)」を合わせて40施策、全体の78.4%であった。(昨年度44施策、86.3%)また、目標(=4)を下回る施策が11施策、21.5%であった。(昨年度7施策、13.7%)

○全施策の78.4%の施策が目標を超えたことは、施策が概ね実施され成果を挙げていると判断できるが、昨年度までの成果と比べると数値は下がった。昨年度に比べ、「概ね目標を達成した施策(=4)」と「目標を上回って達成した施策(=5)」が減少し、「目標をもう少しで達成した施策(=3)」が増加した。(+7.8%)

○「4」「5」から「3」の評価に下がった指標について調査したところ、以下のような要因が見られた。

- ・学習指導要領の改訂により、当初立てた指標が実態と合わなくなった。(3-2外国語活動)
- ・事業数自体の減少、さらに毎年異なるイベントを開催しており、数の増減が顕著である。(6-2世代間交流事業)
- ・相談数減少に関しては、個人のネットによる検索・調査の増加が一つの要因になっている。(8-1生涯学習相談件数)
- ・前年度の数値から判断し高い目標を立てたが、時間を要する高度な案件が増えてきた。(8-2レファレンス受付)
- ・数値的には低下しているが、質的には良好な結果を残した。(12-3職員採用選考)

●31年度の取組

○教育ビジョン第3期実施計画の平成30年度施策最終評価の結果や、それに対する教育ビジョン推進委員会での意見や助言を生かし、適正な進行管理を進める。

○実態を適正にとらえ、着実な取組により実現可能な目標となるよう各担当課に働きかける。

○教育ビジョン第3期実施計画のNEXT&NEWの20施策を中心にした『平成31年度施策の点検と評価(ダイジェスト版)』を作成し、市立各校の全教職員や関係機関等に配布する。

●推進委員からの意見・要望等